● 当カタログのデーターは全て性能値であり保証値ではありません。
● カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
● 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト　http://www.nisshinkogyo.co.jp/

総合防水材料メーカー
日新工業株式会社　0120-86-2424［営業総務課］

■本社／営業統括部　〒120-0025 東京都足立区千住東2－23－4……TEL.(03)3882-2571
■関　　東　TEL.(03)3882-2641　■九　　州　TEL.(092)451-1095　■広　　島　TEL.(082)541-5033
■大　　阪　TEL.(06)6533-3191　■札　　幌　TEL.(011)215-1034　■横　　浜　TEL.(045)316-7885
■名 古 屋　TEL.(052)933-4761　■仙　　台　TEL.(022)263-0315　■工　場　埼　玉・山　形

Aug. 2015-3000 PP

NISSHIN

改質アスファルト防水 トーチ工法

メルタン21 防水工法

日新工業株式会社

環境に優しく、さらに雨漏りのない快適な住環境を日新工業がプレゼンします。

今、地球環境への配慮は建築においても欠かせないものとなり、
モノを永く、大事に扱うことが大切な時代になりました。
建築もメンテナンスを行いながら永く使い、資源を無駄使いせず、
廃棄物を出さないことが環境悪化への大きな歯止めとなります。
メルタン21防水工法は、信頼性の高い改質アスファルトをベースに
開発された改質アスファルトルーフィングによるトーチ工法です。
従来型のアスファルト防水熱工法に比べ、施工に要する材料や
工具類の数が少なく、また煙りや臭気も大幅に少ないなど、
都市部での防水施工に大きなアドバンテージを有します。
ここに、新築及び改修工事を対象とした仕様を整備いたしました。

Feature

水密性の高い防水層

ルーフィングの重ね部をトーチバーナーで熱融着するので、水密性の高い一体化された防水層が作れます。

優れた耐外傷性

合理化された工場で生産された均質なルーフィング類により、厚さ4mm以上の防水層を作るので、耐外傷性に優れています。

優れた破断抵抗性

合成繊維不織布と改質アスファルトから作られたルーフィングは高強度・高伸度を有し、下地のムーブメントにもよく追従します。

環境負荷の低減

熱アスファルト工法に比べ、臭いや煙の発生量が少なく、環境への負荷が少ない工法です。また、有機溶剤を全く使用することなく施工することも可能になり、中毒や火災の危険性も少ない工法です。

優れた耐久性

SBS改質アスファルトを採用したルーフィングは、耐候性に優れ、寒冷地から温暖地まで、幅広い地域で使用できます。省力化、工期の短縮が図れる単層又は2層工法であるため、従来の積層工法に比べて施工性が向上します。

仕様記号の見方

MSC－120FL

- MSC：メルタン21防水工法
- 1：仕様の種類
- 2：下地の種類
- 3：断熱性能
- 4：ルーフィングの枚数
- 5：工法の種類
- 6：砂付の種類
- 7：仕上塗料の種類 仕上材の種類

各記号との対応表

	記号	内容
1 保護・露出仕様	F	保護仕様（トーチ）or（粘着＋トーチ）
	TF	保護仕様（トーチ＋トーチ）
	S	露出仕様（トーチ）or（粘着＋トーチ）
	TS	露出仕様（トーチ＋トーチ）
2 下地の種類	C	コンクリート
	A	アスファルト防水層
	S	合成高分子系防水層
3 断熱性能	1	非断熱
	2	断熱
	3	断熱（防湿層あり）
4 ルーフィングの枚数	1	ルーフィング 1枚（単層）
	2	ルーフィング 2枚（複層）
5 密着・絶縁工法	0	密着工法
	1	絶縁工法
6 砂付の種類	F	露出複層防水工法でメルタンキャップ21Aをメルタンキャップ21Fに替える場合
7 仕上塗料の種類	L	水性アルミコート（シルバー）
	AL	プレノコートAL（高耐用シルバー）
	N	プレノカラーN（カラー）
	R	ロッコート（飛び火防止）
	Z	プレクール（遮熱）
	H	ハイクール（高耐候性遮熱）
仕上材の種類	PF	PFシステム（乾式浮床）
	T	トップタイト（アスファルト成形板）
	K	カチトール（砂利まき）
	B	ピロブロック（コンクリート成形ブロック）
	C	コンクリート（モルタル）

新築工事・既存保護コンクリート，既存防水層撤去①

露出仕様　密着工法

MSC-110
単層工法（トーチ）

下地	RC・PC・ALC
勾配	1/50～1/20
重量	5.6kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタンキャップ21F	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

MSC-120
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	RC・PC・ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.0kg/m²
厚み	5.0mm

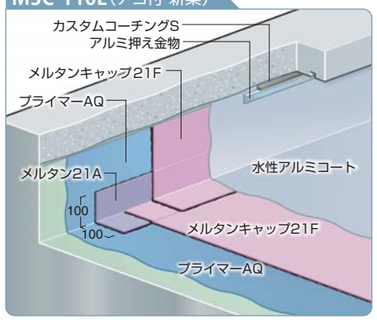
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料

MTSC-120
複層工法（トーチ＋トーチ）

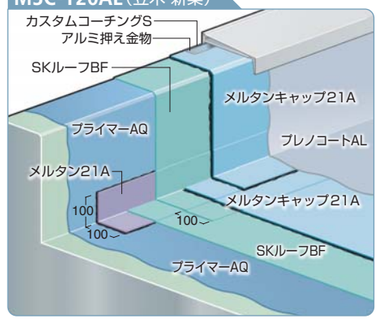
下地	RC・PC・ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.8kg/m²
厚み	5.5mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料

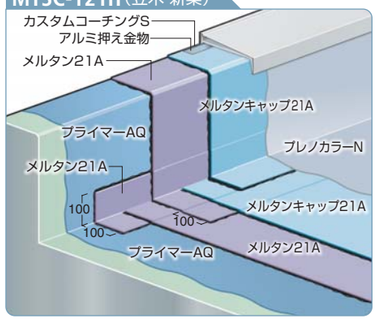
MSC-110L（アゴ付 新築）



MSC-120AL（笠木 新築）



MTSC-121H（笠木 新築）



特記事項

「メルタンキャップ21A」に替えて、「メルタンキャップ21F」を使用することもできます。その際は、仕様記号にFを付けます。

例

MSC-120F 複層工法（粘着＋トーチ）	1	2	3	4
	プライマーAQ 0.2kg/m²	SKルーフBF	メルタンキャップ21F	仕上塗料

露出仕様　絶縁工法

MSC-111
単層工法（トーチ）

下地	RC・PC・ALC
勾配	1/50～1/20
重量	5.6kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタンキャップ21F（スポット溶着）	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

MSC-121
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	RC・PC・ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.6kg/m²
厚み	5.0mm

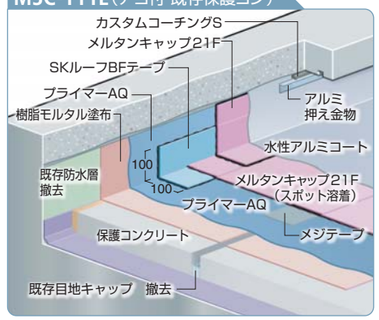
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料

MTSC-121
複層工法（トーチ＋トーチ）

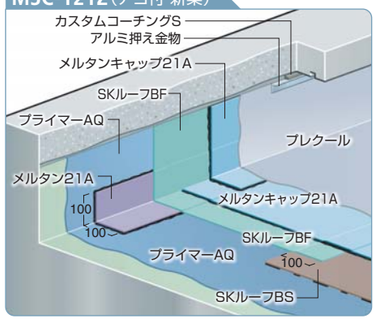
下地	RC・PC・ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.8kg/m²
厚み	5.5mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料

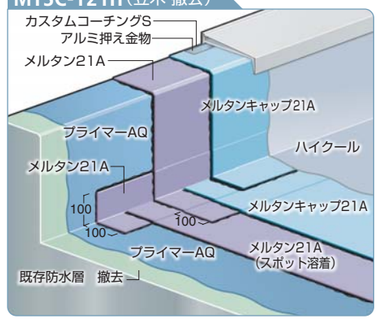
MSC-111L（アゴ付 既存保護コン）



MSC-121Z（アゴ付 新築）



MTSC-121H（笠木 撤去）

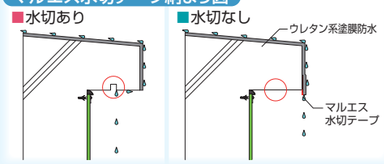


※メルタン21Aを全面溶着にすることができます。その際の仕様記号は、MTSC-120となります。

アゴ下に水切がない場合

アゴ下に水切がない場合には、「マルエス水切テープ」を使用してください。
詳細は「セピロン防水」カタログをご参照ください。

マルエス水切テープ納まり図



仕上塗料一覧

製品名	水性アルミコート	プレノコートAL	プレノカラーN	ロッコート※	プレクール	ハイクール
種　類	シルバー塗料	高耐用シルバー	水性カラー	飛び火防止	遮熱	高耐候性遮熱
仕様記号	L	AL	N	R	Z	H
塗布量の目安	0.3kg/m²	1.0kg/m²	0.5kg/m²	0.8～2.0kg/m²	0.5kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	3～5年	5～7年	3～5年	5～7年	3～5年	6～8年

※受注生産

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50～100m²に1箇所程度）
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（MSC-111、MSC-121、MTSC-121）を採用してください。
- 入隅部の増張りは、メルタン21Aに替えて、SKルーフBFテープを使用することもできます。

新築工事・既存保護コンクリート，既 存防水層撤去②

露出断熱仕様　密着工法

MSC-220
防湿層無工法（粘着＋トーチ）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	8.8kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA（線状塗布）0.5kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	シェーンボード 30mm	SKルーフBF
3	SKルーフBF	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—
6	—	—
7	—	—

MSC-320
防湿層有工法（粘着＋トーチ）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	10.2kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	カスタムM	SKルーフBF
3	USボンドA（線状塗布）0.5kg／m²	メルタンキャップ21A
4	シェーンボード 30mm	仕上塗料
5	SKルーフBF	—
6	メルタンキャップ21A	—
7	仕上塗料	—

特記事項

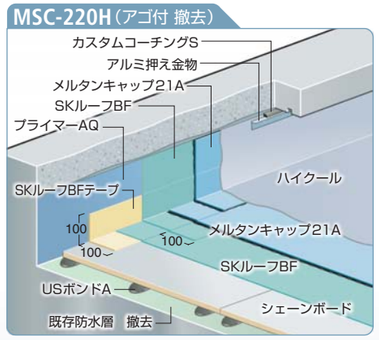
「メルタンキャップ21A」に替えて、「メルタンキャップ21F」を使用することもできます。
その際は、仕様記号にFを付けます。

例

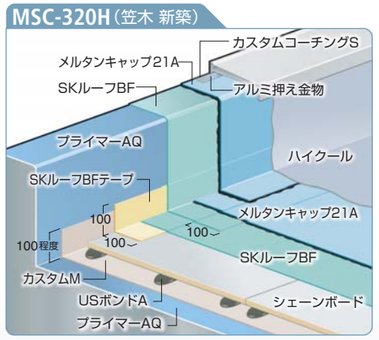
MSC-220F
防湿層無工法（粘着＋トーチ）

1	USボンドA（線状塗布）0.5kg／m²
2	シェーンボード 30mm
3	SKルーフBF
4	メルタンキャップ21F
5	仕上塗料

MSC-220H（アゴ付 撤去）



MSC-320H（笠木 新築）



露出断熱仕様　絶縁工法

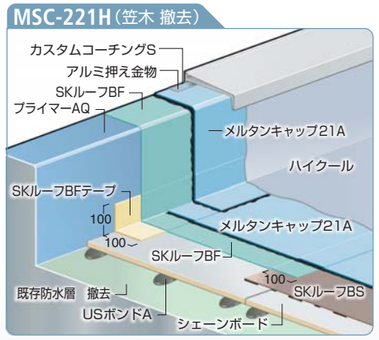
MSC-221※
防湿層無工法（粘着＋トーチ）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.4kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA（線状塗布）0.5kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	シェーンボード 30mm	SKルーフBF
3	SKルーフBS	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—
6	—	—
7	—	—

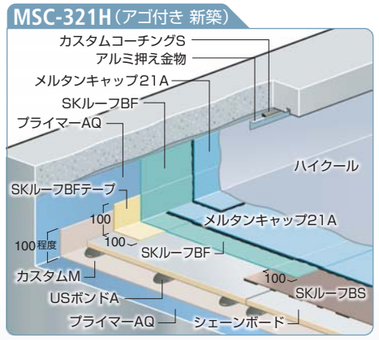
MSC-321※
防湿層有工法（粘着＋トーチ）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	10.8kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	カスタムM	SKルーフBF
3	USボンドA（線状塗布）0.5kg／m²	メルタンキャップ21A
4	シェーンボード 30mm	仕上塗料
5	SKルーフBS	—
6	メルタンキャップ21A	—
7	仕上塗料	—

MSC-221H（笠木 撤去）



MSC-321H（アゴ付き 新築）



飛び火認定について

※国土交通省より、飛び火認定（DR-0894）を取得いたしました。これにより断熱材の厚さ50mmを超える場合でも法第63条や法第22条の屋根に適用することが出来ます。（ロッコートの塗布を2.0kg／m²、断熱材の厚さ50mmを超えて200mm以下、下地がコンクリートの場合に限る）

仕上塗料一覧

製品名	水性アルミコート	プレノコートAL	プレノカラーN	ロッコート※	プレクール	ハイクール
種　類	シルバー塗料	高耐用シルバー	水性カラー	飛び火防止	遮熱	高耐候性遮熱
仕様記号	L	AL	N	R	Z	H
塗布量の目安	0.3kg／m²	1.0kg／m²	0.5kg／m²	0.8～2.0kg／m²	0.5kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	3～5年	5～7年	3～5年	5～7年	3～5年	6～8年

※受注生産

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50～100m²に1箇所程度）
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（MSC-221、MSC-321）を採用してください。
- シェーンボードに浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。

新築工事・既存保護コンクリート，既 存防水層撤去③

保護仕様　密着工法

MFC-110
単層工法（トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	5.4kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21 ※1
3	PTクロス	仕上材 ※3
4	仕上材	—
5	—	—
6	—	—

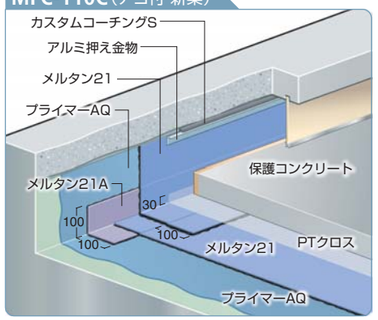
MFC-120
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.1kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス	仕上材 ※3
5	仕上材	—
6	—	—

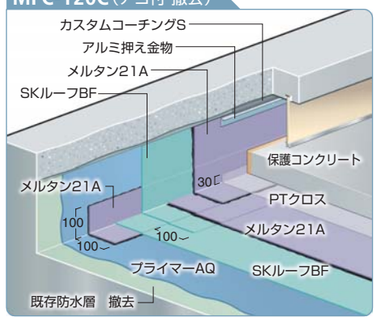
MTFC-120
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス	仕上材 ※3
5	仕上材	—
6	—	—

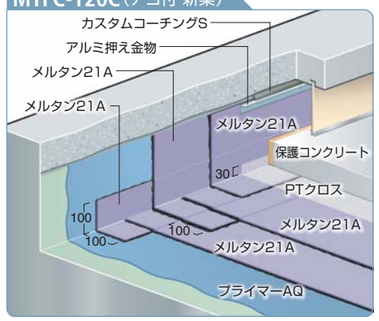
MFC-110C（アゴ付 新築）



MFC-120C（アゴ付 撤去）



MTFC-120C（アゴ付 新築）



保護仕様　絶縁工法

MFC-111
単層工法（トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	5.4kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21（スポット溶着）	メルタン21 ※1
3	PTクロス	仕上材 ※3
4	仕上材	—
5	—	—
6	—	—

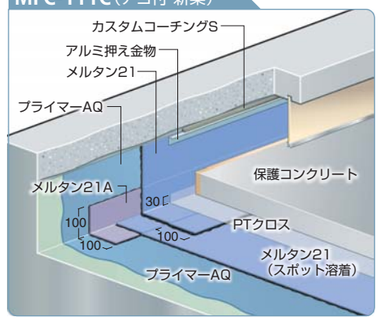
MFC-121
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.7kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス	仕上材 ※3
5	仕上材	—
6	—	—

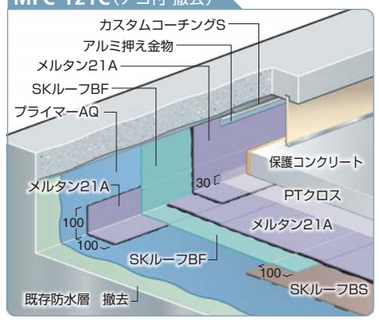
MTFC-121
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス	仕上材 ※3
5	仕上材	—
6	—	—

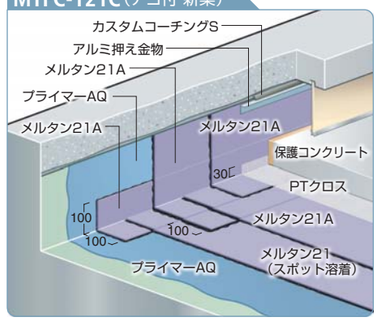
MFC-111C（アゴ付 新築）



MFC-121C（アゴ付 撤去）



MTFC-121C（アゴ付 新築）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『メルタン21』に替えて『メルタンキャップ21F』を使用します。
※2『メルタン21A』に替えて『メルタンキャップ21A(F)』を使用します。
※3『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。（p.6参照）

仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成形ブロック	コンクリート（モルタル）
仕様記号	PF	T	K	B	C

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 「PFシステム」・「トップタイト」・「ピロブロック」仕上げの場合は、PTクロスを省略することができます。
- 入隅部の増張りは、メルタン21Aに替えて、SKルーフBFテープを使用することもできます。

新築工事・既存保護コンクリート，既 存防水層撤去④

保護断熱仕様　密着工法

MFC-210
単層工法（トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.2kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21 ※1
3	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材 ※3
4	BKボードE 35mm	—
5	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
6	仕上材	—
7	—	—

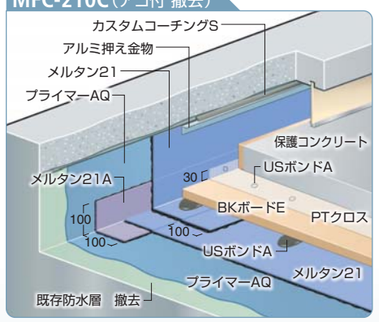
MFC-220
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.9kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
7	仕上材	—

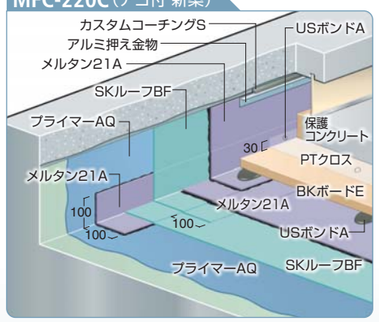
MTFC-220
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.6kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
7	仕上材	—

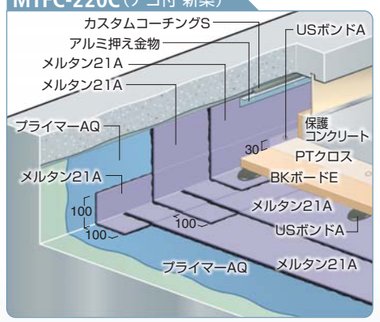
MFC-210C（アゴ付 撤去）



MFC-220C（アゴ付 新築）



MTFC-220C（アゴ付 新築）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『メルタン21』に替えて『メルタンキャップ21F』を使用します。
※2『メルタン21A』に替えて『メルタンキャップ21A(F)』を使用します。
※3『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。（p.6参照）

保護断熱仕様　絶縁工法

MFC-211
単層工法（トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.2kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21（スポット溶着）	メルタン21 ※1
3	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材 ※3
4	BKボードE 35mm	—
5	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
6	仕上材	—
7	—	—

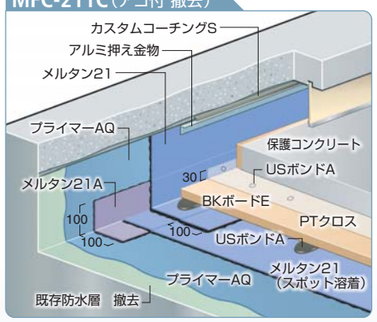
MFC-221
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.5kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
7	仕上材	—

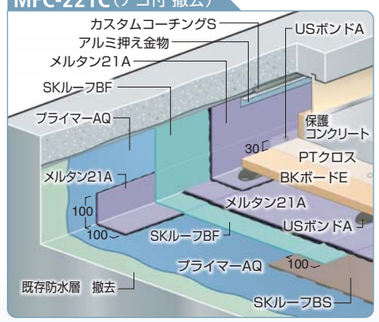
MTFC-221
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.6kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
7	仕上材	—

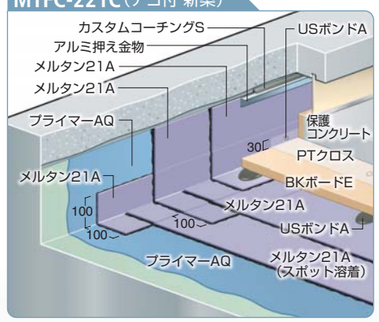
MFC-211C（アゴ付 撤去）



MFC-221C（アゴ付 撤去）



MTFC-221C（アゴ付 新築）



仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成形ブロック	コンクリート（モルタル）
仕様記号	PF	T	K	B	C

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 「PFシステム」・「トップタイト」・「ピロブロック」仕上げの場合は、PTクロスを省略することができます。
- 入隅部の増張りは、メルタン21Aに替えて、SKルーフBFテープを使用することもできます。

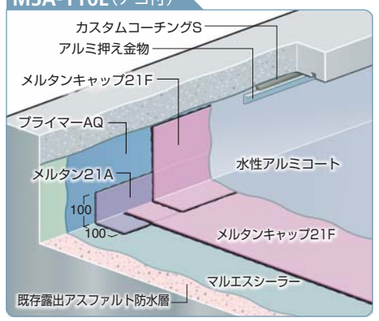
既存アスファルト防水層 ①

露出仕様　密着工法

MSA-110
単層工法（トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.6kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタンキャップ21F	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—
5	—	—

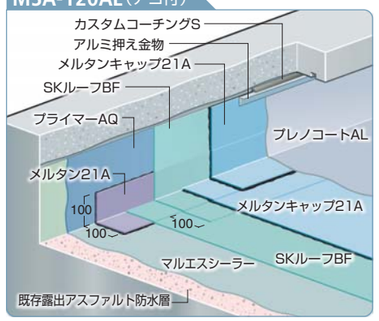
MSA-110L（アゴ付）



MSA-120
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.0kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—

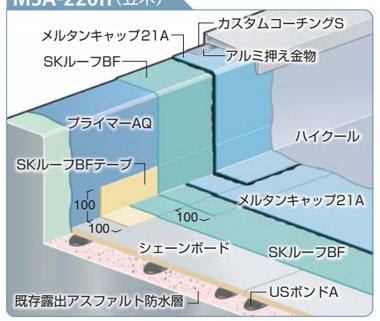
MSA-120AL（アゴ付）



MSA-220
複層断熱工法（粘着＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m² ※1	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	シェーンボード 30mm	SKルーフBF
3	SKルーフBF	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—

MSA-220H（笠木）



特記事項

「メルタンキャップ21A」に替えて、「メルタンキャップ21F」を使用することもできます。その際は、仕様記号にFを付けます。

例

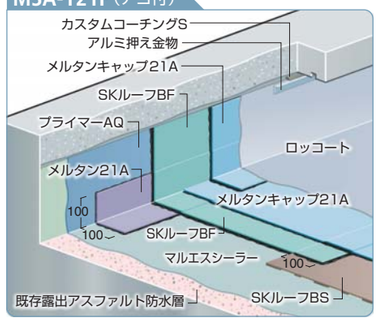
MSA-120F 複層工法（粘着＋トーチ）	1	2	3	4
	マルエスシーラー 1.2kg/m²	SKルーフBF	メルタンキャップ21F	仕上塗料

露出仕様　絶縁工法

MSA-121※
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.6kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—

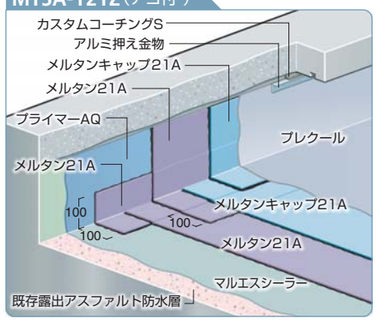
MSA-121P（アゴ付）



MTSA-121
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.8kg/m²	
厚み	5.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A※（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—

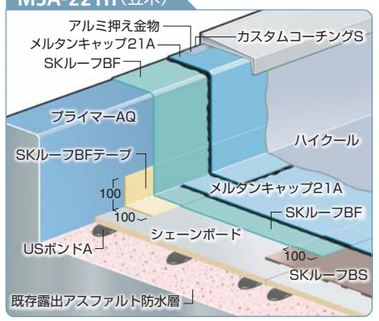
MTSA-121Z（アゴ付 ）



MSA-221
複層断熱工法（粘着＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.4kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m² ※1	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	シェーンボード 30mm	SKルーフBF
3	SKルーフBS	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—

MSA-221H（笠木）



※メルタン21Aを全面溶着にすることができます。その際の仕様記号はMTSA-120となります。

複層断熱工法の特記事項

※1. 下地調整材としてマルエスシーラーを塗布する場合は、工程1をUSボンドAに替えてセピロンセメント0.5kg/m²を使用してください。

仕上塗料一覧

製品名	水性アルミコート	プレノコートAL	プレノカラーN	ロッコート※	プレクール	ハイクール
種　類	シルバー塗料	高耐用シルバー	水性カラー	飛び火防止	遮熱	高耐候性遮熱
仕様記号	L	AL	N	R	Z	H
塗布量の目安	0.3kg/m²	1.0kg/m²	0.5kg/m²	0.8～2.0kg/m²	0.5kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	3～5年	5～7年	3～5年	5～7年	3～5年	6～8年

※受注生産

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50～100m²に1箇所程度）
- シェーンボードに浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。
- マルエスシーラーは、下地の状態によって塗布量を変えることができます。
- 断熱工法で下地処理材が必要な場合は、AQシーラーを使用してください。
- 入隅部の増張りは、メルタン21Aに替えて、SKルーフBFテープを使用することもできます。

既存アスファルト防水層②

保護仕様　密着工法

MFA-110
単層工法（トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.4kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21※1
3	PTクロス	仕上材※3
4	仕上材	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—

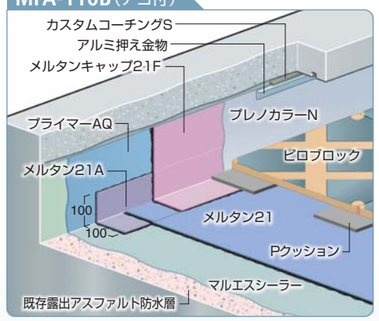
MFA-120
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.1kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A※2
4	PTクロス	仕上材※3
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

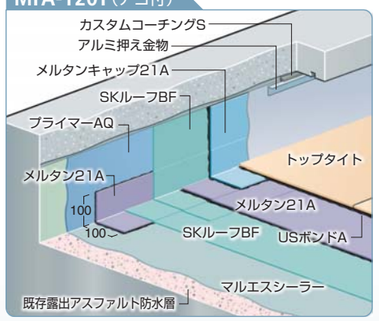
MTFA-120
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A※1
4	PTクロス	仕上材※3
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

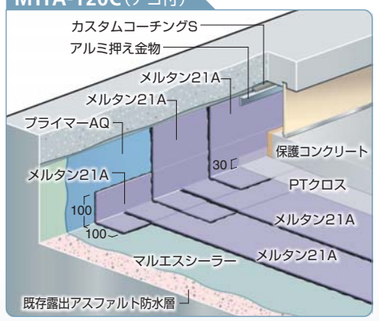
MFA-110B（アゴ付）



MFA-120T（アゴ付）



MTFA-120C（アゴ付）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『メルタン21』に替えて『メルタンキャップ21F』を使用します。
※2『メルタン21A』に替えて『メルタンキャップ21A(F)』を使用します。
※3『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。（p.6参照）

保護断熱仕様　密着工法

MFA-210
単層工法（トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.2kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21※1
3	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材※3
4	BKボードE 35mm	—
5	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
6	仕上材	—
7	—	—

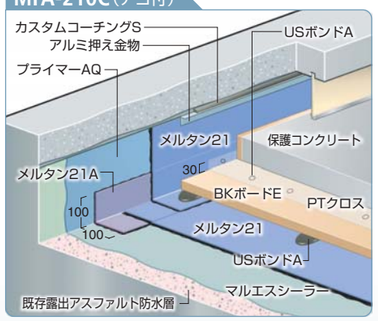
MFA-220
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.9kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材※3
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
7	仕上材	—

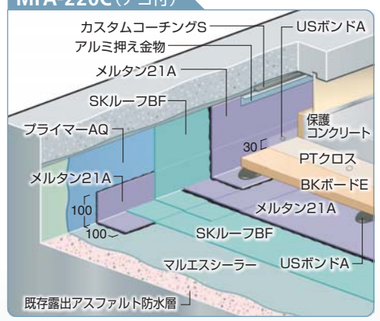
MTFA-220
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	9.6kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー 1.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材※3
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス（USボンドA0.1kg/m²）	—
7	仕上材	—

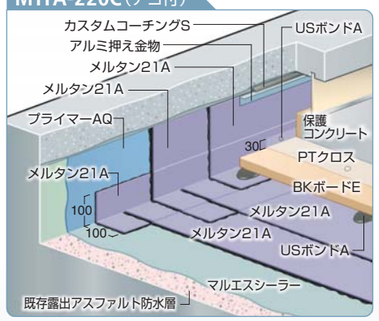
MFA-210C（アゴ付）



MFA-220C（アゴ付）



MTFA-220C（アゴ付）



仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成形ブロック	コンクリート（モルタル）
仕様記号	PF	T	K	B	C

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 「PFシステム」・「トップタイト」・「ピロブロック」仕上げの場合は、PTクロスを省略することができます。
- 入隅部の増張りは、メルタン21Aに替えて、SKルーフBFテープを使用することもできます。

既存合成高分子防水層

露出仕様　密着工法

MSS-120
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.9kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—
6	—	—

MSS-220
複層断熱工法（粘着＋トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.9kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	SKルーフBF
3	シェーンボード 30mm	メルタンキャップ21A
4	SKルーフBF	仕上塗料
5	メルタンキャップ21A	—
6	仕上塗料	—

特記事項

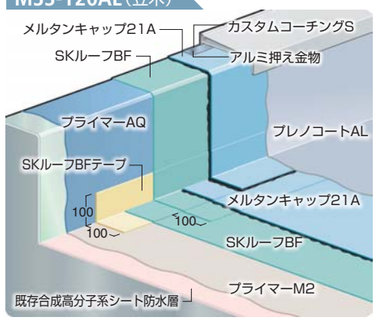
「メルタンキャップ21A」に替えて、「メルタンキャップ21F」を使用することもできます。
その際は、仕様記号に F を付けます。

例

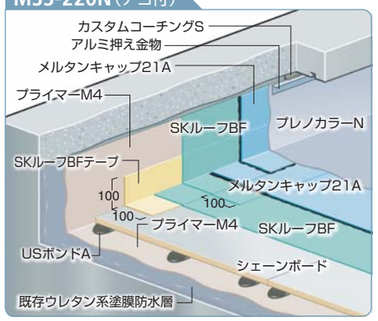
MSS-120F
複層工法（粘着＋トーチ）

1	プライマーM2 0.1kg/m²
2	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21F
4	仕上塗料

MSS-120AL（笠木）



MSS-220N（アゴ付）



露出仕様　絶縁工法

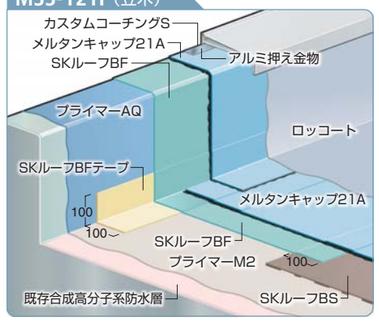
MSS-121
複層工法（粘着＋トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.5kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—
6	—	—

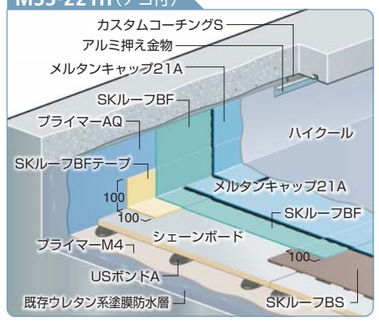
MSS-221
複層断熱工法（粘着＋トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.5kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	SKルーフBF
3	シェーンボード 30mm	メルタンキャップ21A
4	SKルーフBS	仕上塗料
5	メルタンキャップ21A	—
6	仕上塗料	—

MSS-121P（笠木）



MSS-221H（アゴ付）



仕上塗料一覧

製品名	水性アルミコート	プレノコートAL	プレノカラーN	ロッコート※	プレクール	ハイクール
種　類	シルバー塗料	高耐用シルバー	水性カラー	飛び火防止	遮熱	高耐候性遮熱
仕様記号	L	AL	N	R	Z	H
塗布量の目安	0.3kg/m²	1.0kg/m²	0.5kg/m²	0.8～2.0kg/m²	0.5kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	3～5年	5～7年	3～5年	5～7年	3～5年	6～8年

※受注生産

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
- 既存防水層がゴムシート防水の場合は、プライマーM2に替えて、カスタムプライマー（0.2kg/m²）を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50～100m²に1箇所程度）
- 既存防水層がウレタン系塗膜防水の場合は、プライマーM2に替えて、プライマーM4（0.1kg/m²）を塗布します。
- シェーンボードに浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。

架台廻り

PK-35

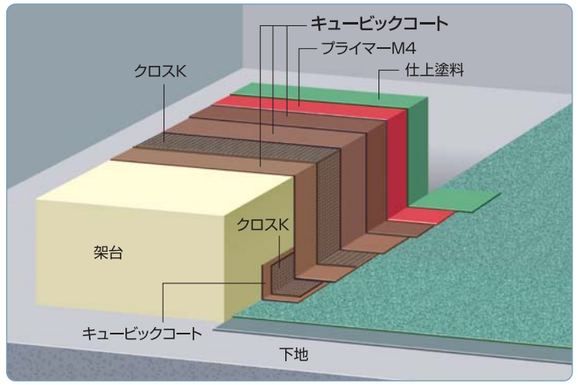
部位	
1	キュービックコート 1.0kg／m²
2	クロスK張り付け
3	キュービックコート 1.0kg／m²
4	キュービックコート 1.0kg／m²
5	プライマーM4 0.1kg／m²
6	仕上塗料 ※

※仕上塗料は、必ずプライマーM4（0.1kg／m²）を塗布・乾燥後、翌日以降に施工してください。
（翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります）

キュービックコートは、メルタン21防水材料との接着性に優れた湿気硬化型塗膜防水材です。「架台廻り」「複雑部位」「狭所」に併用してご使用ください。

特徴

- ●1液タイプなので扱いが容易です。
- ●無溶剤型で臭いもありません。
- ●塗膜の伸びが大きいので、下地の挙動にも追従します。



作業手順

1. キュービックコート

2. クロスKの張り付け

3. キュービックコートを塗布

4. 塗布終了

物性

外　観	黒色粘ちょう液
比　重	約1.6
粘度（23℃、10回転）Pa・s	一般用: 150～200　　冬用: 20～40
塗膜物性（14日後）	引張強さ：0.75（N／mm²）　伸び率：235％
組　成	アスファルト、特殊変成ポリマー、充填材等
危険物第4類第四石油類	

備考

- ●開缶後放置すると、表面に皮膜が張りますので、使用後は密閉してください。
- ●表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いて使用してください。

仕上塗料一覧

製品名	水性アルミコート	プレノコートAL	プレノカラーN	ロッコート※	プレクール	ハイクール
種　類	シルバー塗料	高耐用シルバー	水性カラー	飛び火防止	遮熱	高耐候性遮熱
仕様記号	L	AL	N	R	Z	H
塗布量の目安	0.3kg／m²	1.0kg／m²	0.5kg／m²	0.8～2.0kg／m²	0.5kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	3～5年	5～7年	3～5年	5～7年	3～5年	6～8年

●上記のいずれかを必ず塗布してください。

※受注生産

製品一覧表

	製品名	規格	厚さ(mm)	重量(kg)	備考
シート類	メルタン21	1m×8m／本	4.0	36	改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出単層用R種Ⅱ類
	メルタン21A	1m×8m／本	2.5	23	改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	SKルーフBF	1m×12m／本	2.0	27	粘着層付改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	SKルーフBS	1m×12m／本	2.0	33	部分粘着層付改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	メルタンキャップ21F	1m×8m／本	4.0	38	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類
	メルタンキャップ21A	1m×8m／本	3.0	30	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出複層用R種Ⅱ類
	カスタムM	1m×16m／本	1.0	23	粘着層付改質アスファルトシート　防湿層用
	SKルーフBFテープ	0.2m×12m／箱、2個／箱入	2.0	10.8	粘着層付改質アスファルトシート　裁断品
プライマー類	プライマーAQ	16kg／缶	—	16	水性系アスファルトプライマー
	アスファルトプライマー	15kg／缶	—	15	溶剤系アスファルトプライマー
	プライマーC1※	17kg／缶	—	17	コンクリート・モルタル用（一般用）
	プライマーM2	0.5kg／缶、17kg／缶	—	0.5, 17	合成高分子系シート防水下地用プライマー
	プライマーM4	8kg（主剤4kg＋硬化剤4kg）	—	8	ウレタン塗膜防水下地用プライマー（溶剤系）
	プライマーM4E	16kg（主剤4kg＋硬化剤4kg＋粉体8kg）	—	16	ウレタン塗膜防水下地用プライマー（無溶剤系）
下地調整材	マルエスシーラー	18kg／缶	—	18	アスファルト系下地処理（活性）材
	AQシーラー	42kg（A材17kg、B材25kg）	—	42	水性ゴムアスファルト系下地処理材
	フィットベース	19kg（主剤1kg＋硬化剤3kg＋粉体15kg）	—	19	水性エポキシ樹脂系下地処理材
	ニューセッターボード	1m×1m／枚	3.0	4.3	アスファルト系マスチックパネル
	ショウテック早強#200	43kg（混和剤18kg＋粉体25kg）	—	43	急結高強度セメント系下地処理材
仕上塗料	水性アルミコート	15kg／缶	—	15	水性シルバー塗料
	プレノコートAL	18kg（主剤14.4kgアルミペースト3.6kg）	—	18	高耐用シルバー塗料
	プレノカラーN	15kg／缶	—	15	水性カラー塗料
	ロッコート	20kg／缶	—	20	水性カラー飛び火防止塗料（受注生産）
	プレクール	16kg／缶	—	16	水性カラー遮熱塗料
	ハイクール	16kg／缶	—	16	水性カラー高耐候遮熱塗料
副資材	トップタイト	0.5m×1m	6.0	5.5	アスファルト成形板
	マルエス鉛ドレン	330mm×330mm	—	—	改修用鉛ドレン　縦・横
	マルエス銅ドレン	365mm×365mm	—	—	改修用銅ドレン　縦・横
	ドレンキャップ縦	縦:大:50～100φ、縦:小:30～75φ	—	—	改修ドレン用　ストレーナー　縦
	ドレンキャップ横	横自在:50～100φ、横:小:平、横:小:L:40～65φ	—	—	改修ドレン用　ストレーナー　横
	ニューステンレスベント	—	—	—	ステンレス製脱気筒
断熱材	BKボードE	910mm×910mm	—	—	押出成形ポリスチレン系
	シェーンボード	605mm×910mm	—	—	硬質ウレタン系
その他副資材	USボンドA	10、20kg／缶、330ml×24本／箱入	—	20	アスファルト系断熱材用接着剤
	セッターセメント	18kg／缶	—	18	アスファルト系断熱材用接着剤
	キュービックコート	10kg／缶	—	10	1液型アスファルト系塗膜防水材
	カスタムコーチングS	22、11kg／缶、330ml×24本／箱入	—	—	ゴムアスファルト系シーリング材
	セピロンセメント	主剤:2kg／缶、硬化剤:8kg／缶	—	10	2成分無溶剤型ウレタン系接着剤
	PTクロス	1m×200m	—	15	絶縁用クロス（フラットヤーンクロス）
	メジテープ	0.1m×16m	1.0	2.5	伸縮目地処理用テープ
	Iテープ	0.1m×16m／箱、3個／箱入	—	4.6	断熱材目地補強テープ
	マルエス水切テープ	50mm×50m	—	0.43	パラペットアゴ下専用水切テープ
	クロスK	1.02m×50m	—	3.5	キュービックコート用補強材
	パラクッション	970mm×18mm	18.0	—	入隅部　成形緩衝材
	パラキャント	1000mm×25mm・30mm	—	—	入隅部　成形緩衝材（断熱用）
	トーチバーナーセット	—	—	—	-
押え金物類	MC-14A	30×2m／本	2.0	—	端末タイプ
	MC-15	40×10×2m／本	1.6	—	端末タイプ
	MC-16B	30×10×2m／本	1.5	—	端末タイプ
	MC-19	40×15×2m／本	1.6	—	端末タイプ
	MC-27	30×15×2m／本	2.0	—	端末タイプ
	MC-28	40×10×2m／本	2.0	—	端末タイプ
	MC-50S	2m／本	—	—	水切りタイプ
	MC-55S	3m／本	1.4	—	水切りタイプ
	MC-55WS	3m／本／本	1.4	—	水切りタイプ
	MC-2B	70×40×2m／本	1.7	—	軒先タイプ
	MC-3	110×55×2m／本	2.0	—	軒先タイプ
	MC-11F	75×40×2m／本	1.2	—	軒先タイプ
	MC-21	70×45×2m／本	1.8	—	軒先タイプ
	MC-22	100×50×2m／本	1.9	—	軒先タイプ
	MC-9A	62×40×2m／本	1.7	—	軒先タイプ
	MC-9C	65×45×2m／本	1.2	—	軒先タイプ
	MC-9D	65×68×2m／本	1.3	—	軒先タイプ

※プライマーC10は、プライマーC1とポルトランドセメントを1：1の割合で混合したものです。

公共建築／公共住宅建設／都市再生機構

平成25年版　公共建築工事・改修工事標準仕様書 対応仕様

Ⓝは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様です。　Ⓡは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様です。

屋根露出防水密着工法

AS-T1 トーチ工法 Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種、2.5mm以上）	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート（露出複層防水用R種、3.0mm以上）	—	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料塗り	0.3	仕上塗料塗り

■平成22年版「**AS-1**」

AS-T2 トーチ工法 Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート（露出単層防水用R種、4.0mm以上）	—	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料塗り	0.3	仕上塗料塗り
4	—	—	—

■平成22年版「**AS-2**」

屋根露出防水絶縁工法

AS-T3 トーチ工法 Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ
2	部分粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種、1.5mm以上）	—	SKルーフBS（メルタン21A）
3	改質アスファルトシート（露出複層防水用R種、3.0mm以上）	—	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料塗り	0.3	仕上塗料塗り

■平成22年版「**AS-4**」

AS-T4 トーチ工法（スポット溶着工法） Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ
2	あなあきシート	—	—
3	改質アスファルトシート（露出単層防水用R種、4.0mm以上）	—	メルタンキャップ21F
4	仕上塗料塗り	0.3	仕上塗料塗り

■平成22年版「**AS-5**」

屋根露出防水絶縁断熱工法

ASI-T1 トーチ工法 Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーC10
2	断熱材張付け	0.5	シェーンボード USボンドA 0.5kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種、1.5mm以上）	—	SKルーフBS（メルタン21A）
4	改質アスファルトシート（露出複層防水用R種、3.0mm以上）	—	メルタンキャップ21A
5	仕上塗料塗り	0.3	仕上塗料塗り

■平成22年版「**ASI-1**」

同等仕様一覧

仕様記号	改修			新築
	P0	M3	M4	
	P（既存保護アス）	M（既存露出アス）		
	0（保護・防水非撤去）	3（既存防水撤去）	4（既存防水非撤去）	
AS-T1	—	—	MTSA-120	MTSC-120
AS-T2	—	—	MSA-110	MSC-110
AS-T3	MSC-121, MTSC-121	MSC-121, MTSC-121	—	—
AS-T4	MSC-111	MSC-111	—	—
ASI-T1※	MSC-221	MSC-221	MSA-221	MSC-221

※同等とする場合は、プライマー処理が別途必要となります。

共通事項

1. ALCパネルの場合は、工程1を（　）内とする。
2. 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。
3. ●下地の状態によっては、プライマーC10に替えてプライマーC1（0.1kg／m²）を使用することもできます。
   ●AS-T1、AS-T2において下地が既存アスファルト系防水層の場合は、工程1を省略する。（下地が砂付の場合は、マルエスシーラーを使用する）
   ●ASI-T1において下地が既存アスファルト系防水層の場合は、工程1を省略する。（下地が砂付の場合は、AQシーラーを使用する）
   （下地調整材としてマルエスシーラーを塗布する場合は、工程2をUSボンドAに替えてセピロンセメント0.5kg／m²を使用してください。）
4. AS-T3の立上りは工程2を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上→メルタン21A）とする。
5. POAS工法の場合で、プライマーの吸い込みが著しく、工程1の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。
6. AS-T4の立上り部は、あなあきシートを省略する。
7. AS-T3を部分的に溶着させる場合は、工程2を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上→メルタン21A）とする。
8. AS-T4を部分的に溶着させる場合は、工程2を省略する。
9. ASI-T1において、工程2の断熱材張付けは、改質アスファルトシート製造所の仕様による。
10. ASI-T1において、防湿層の設置は特記による。
11. ASI-T1の立上りは、工程1をプライマーAQ（0.2kg／m²）とする。
12. ASI-T1の立上りは、工程3を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上→メルタン21A）とする。
    脱気装置の種類および脱気数量は特記による。
13. 特記が無ければ、種類は改質アスファルトシート製造所の指定する製品とし、設置個数は50～100m²程度に1箇所程度とする。
14. 仕上塗料塗りはp.4「仕上塗料一覧」をご参照ください。

公共住宅建設工事共通仕様書 対応仕様

屋根外断熱保護防水層（密着工法）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー	0.2	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート	—	メルタン21
3	断熱材	—	BKボートE
4	絶縁用シート	—	PTクロス
5	保護コンクリート	—	別途工事

注意 ●立上りは断熱材及び絶縁用シートを省略します。

屋根露出防水層（密着工法）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー	0.2	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート	—	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

屋根保護防水層（密着工法）

工程	材料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー	0.2	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート	—	メルタン21
3	絶縁用シート	—	PTクロス
4	保護コンクリート	—	別途工事

注意 ●立上りは絶縁用シートを省略します。

共通事項

1. 増張り用シートは、非露出複層用R種（メルタン21A）とする。
2. 増張り材の張掛け寸法は、次の通りとする。

施工部位	張掛け寸法 (mm)	
	立上り部分	平場部分
鉛直の出隅、入隅部	100程度	100程度
配管類回り	150程度	150程度

都市再生機構保全工事 対応仕様

屋根外断熱全面修繕工事

断熱部（かぶせ方式）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	アスファルト活性材	1.0	マルエスシーラー
2	接着剤	0.5	セッターセメント
3	断熱材	—	シェーンボード
4	断熱材目地補強テープ	—	Iテープ
5	部分粘着型通気絶縁用シート	—	SKルーフBS
6	改質アスファルトルーフィング	—	メルタンキャップ21F
7	仕上塗料塗り	0.3	水性アルミコート

断熱部（撤去方式）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	速乾性プライマー	0.2	アスファルトプライマー
2	接着剤	0.5	セッターセメント
3	断熱材	—	シェーンボード
4	断熱材目地補強テープ	—	Iテープ
5	部分粘着型通気絶縁用シート	—	SKルーフBS
6	改質アスファルトルーフィング	—	メルタンキャップ21F
7	仕上塗料塗り	0.3	水性アルミコート

非断熱部（かぶせ方式）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	アスファルト活性材	1.0	マルエスシーラー
2	増張り用シート	—	SKルーフBF
3	部分粘着型通気絶縁用シート	—	SKルーフBS
4	改修用ドレン	—	—
5	改質アスファルトルーフィング	—	メルタンキャップ21F
6	仕上塗料塗り	0.3	水性アルミコート

注意 ●工程3は水抜きシートを設置する場合に適用します。

非断熱部（撤去方式）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	速乾性プライマー	0.2	アスファルトプライマー
2	増張り用シート	—	SKルーフBF
3	部分粘着型通気絶縁用シート	—	SKルーフBS
4	改修用ドレン	—	—
5	改質アスファルトルーフィング	—	メルタンキャップ21F
6	仕上塗料塗り	0.3	水性アルミコート

注意 ●工程3は水抜きシートを設置する場合に適用します。

屋根防水全面修繕工事

かぶせ方式

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	アスファルト活性材	1.0	マルエスシーラー
2	改質アスファルトルーフィング	—	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料塗り	0.3	水性アルミコート

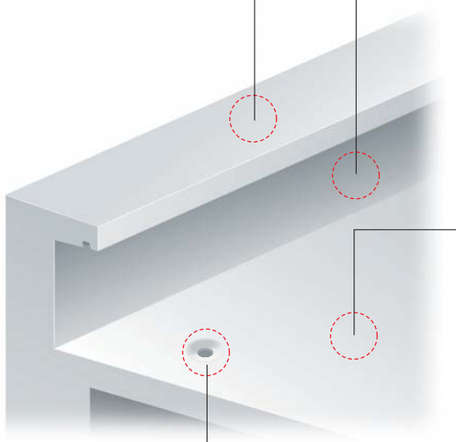
撤去方式

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	速乾性プライマー	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトルーフィング	—	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料塗り	0.3	水性アルミコート

■新築工事の場合は「公共住宅建築工事共通仕様書」に準じます。

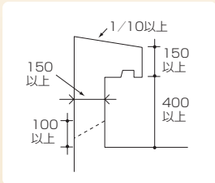
防水下地のチェックポイント

新築工事 チェックポイント



パラペット

- スラブと同時打設を原則とします。打継ぐ場合は、防水保護仕上げ面より100mm以上とし、打継面は外勾配とします。
- 立上り厚とアゴの見付厚は150mm以上としダブル配筋とします。
- パラペット天端は1／10以上の水勾配を付けます。
- アゴのある場合は、水上でもスラブ面からアゴ下までを400mm以上とします。



立上り

- 立上り面は、コンクリート打放し仕上げを原則とし平滑な面に仕上げます。
- アゴを設ける場合、アゴは躯体と一体打ちとしアゴ上面と躯体が剥離しないようにします。

平　場

- 表面にはレイタンス・ジャンカ等の凹凸がないよう平滑な面とします。
- コンクリート下地においては金ゴテ仕上げとします。
- 下地は十分に乾燥させます。

勾　配

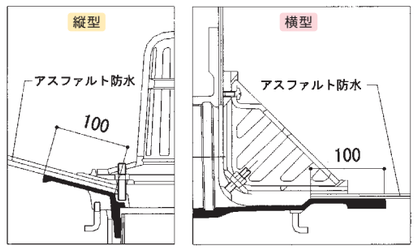
- 必ず躯体でとります。
- 勾配は1／100～1／20とし、工法により異なります。

排　水

- ルーフドレンの排水分担面積は十分に余裕をもたせます。
- 本体受皿はスラブより15～50mm程度下げます。
- 設置位置はパラペットより300mm以上離して取付けます。

ルーフドレン

- 防水層施工張り代　100mm



現場打コンクリートの場合のチェックポイント

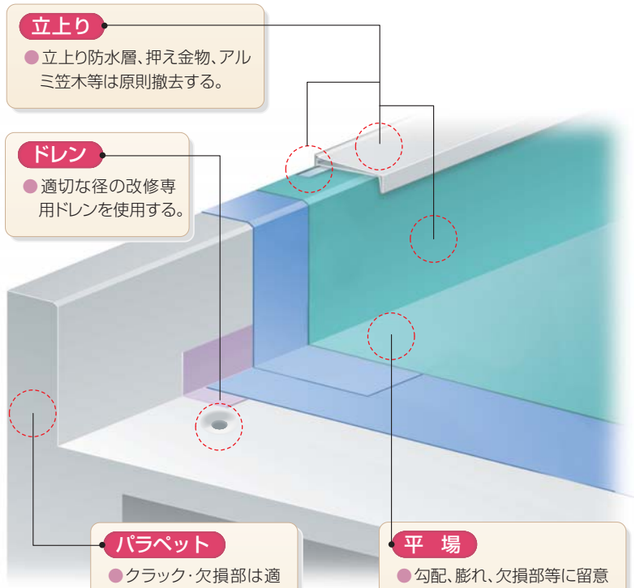
1. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか
2. 表面は平滑になっているか
3. ジャンカ等の不良部分及び突起物がないか
   レイタンス等の脆弱部分がないか
4. 出入隅部分の形状は規定通りになっているか
   入隅部は直角とする
   出隅部は小面取りとする
5. ルーフドレンの種別は防水工法にあっているか
6. ルーフドレンの取付け位置は適切か
7. 下地の乾燥は充分か

PC・ALC等のパネル類の場合のチェックポイント

1. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか
2. 継ぎ手部分に段差が生じていないか
3. 継ぎ手目地部分の充てんモルタルが浮いていないか
4. パネル類に欠損部がないか
   取付けボルト等が突出していないか
5. パネル類は梁・母屋等に堅固に固定されているか
6. パネル類の表面に離型材等の油脂類が付着していないか
7. パネル類の表面に脆弱部分がないか
8. 出入隅部分の形状は規定通りになっているか
   入隅部は直角とする
   出隅部は小面取りとする
9. ルーフドレンの種別は防水工法にあっているか
10. ルーフドレンの取付け位置は適切か
11. 下地の乾燥は充分か

改修工事 チェックポイント

露出防水層の場合



立上り

- 立上り防水層、押え金物、アルミ笠木等は原則撤去する。

ドレン

- 適切な径の改修専用ドレンを使用する。

パラペット

- クラック・欠損部は適切に処置をする。

平　場

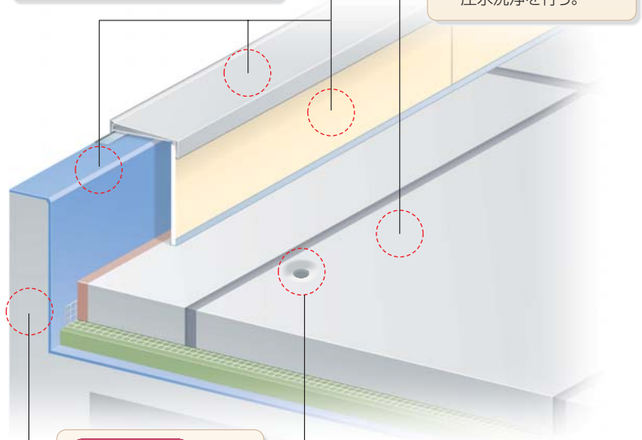
- 勾配、膨れ、欠損部等に留意し施工前に高圧水洗浄を行う。

下地が露出防水層の場合のチェックポイント

1. 既存防水層に雨漏りはないか
   →雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
2. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか
   →適切な下地調整を行ってください。
3. 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか
4. 膨れ部分の処理は適切か（下図参照）
5. 防水層欠損部の処理は適切か
6. ドレンや排水溝廻り等の植物の除去は行っているか
7. パラペットのクラック・欠損部の処理は適切か
8. 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか
   （鉛ドレン・銅ドレン）
9. 立上り部の防水層の処置は適切か
   （原則として、撤去します）

膨れ部分の切開方法

保護防水層の場合



立上り

- 立上り防水層、押え金物、アルミ笠木等は原則撤去する。

平　場

- 勾配、伸縮目地、欠損部等に留意し施工前に高圧水洗浄を行う。

パラペット

- クラック・欠損部は適切に処置をする。

ドレン

- 適切な径の改修専用ドレンを使用する。

下地が保護防水層の場合のチェックポイント

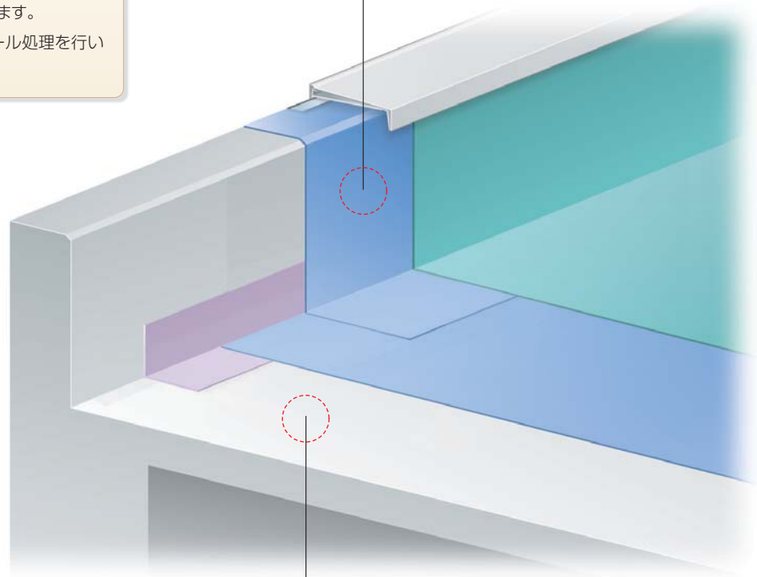
1. 既存防水層に雨漏りはないか
   →雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
2. 新規防水層は絶縁工法が採用されているか
3. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか
   →適切な下地調整を行ってください。
4. 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか
5. 適切な下地調整が行われているか
6. 伸縮目地の処理は適切か
   （撤去してメジテープ等で処理）
7. ドレンや排水溝廻り、伸縮目地等の植物の除去は行っているか
8. 平場及びパラペットのクラック・欠損部の処理は適切か
9. 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか
   （鉛ドレン・銅ドレン）
10. 立上り部の防水層の処置は適切か
    （原則として、防水層および保護層は撤去します）

施工管理のチェックポイント

露出仕様 チェックポイント

立上り

- 立上りの高さは水上でも仕上げ面から200mm以上とします。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

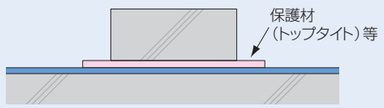


平　場

- 絶縁工法の場合は膨れ発生防止のため、下地は十分に乾燥させ、さらに脱気筒（ニューステンレスベント）を50～100m²に1個設置します。
- 勾配は必ず躯体自身でとり、1/50～1/20とします。（1/100勾配は、水はけが困難のためできるだけ避ける）

設備等基礎類の設置

- 露出仕様の上に直接基礎類を設置すると防水層を損傷しますので躯体から立上げるようにします。
- 防水層の上にやむを得ず設置する際には集中荷重にならないよう基礎の設置面積を大きくし、保護材を設けて設置します。



チェックポイント

1. プライマー・接着剤等は十分に撹拌して使用しているか。
2. プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。
3. 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。
4. 断熱材を施工する場合、接着剤は規定通りに塗布しているか。
5. 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。
6. ドレン、パイプ廻り等に、規定の増張りをしているか。
7. ルーフィング接合部を、逆張りにしていないか。
8. ルーフィング接合部の重ね幅は規定通りになっているか。
9. 張り付けたルーフィングに「シワ・膨れ」等が生じていないか。
10. ルーフィングの下に小石などの異物がないか。
11. 立上りは規定の高さまで施工しているか。
12. 張り仕舞処理は規定通りになっているか。
13. 仕上塗料は規定量を全面にムラなく塗布しているか。

保護仕様 チェックポイント

立上り保護

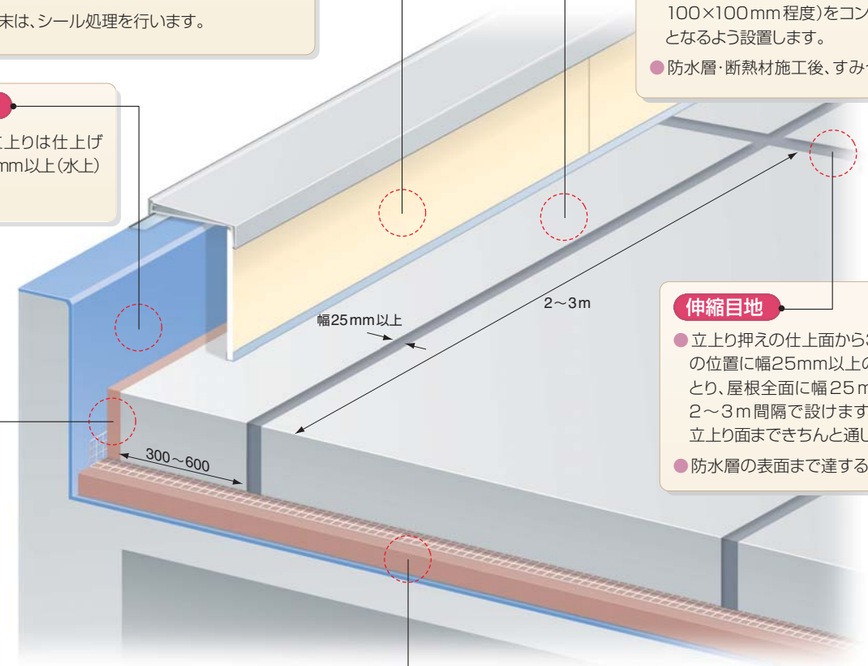
- 立上りは一般的に乾式保護材を使用します。
- コンクリートの場合は、躯体に仕込んだ鉄筋と保護コンクリートの鉄筋を筋結します。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

保護コンクリート

- 普通コンクリートとし、コンクリートの厚みは一般的に80mm以上です。
- ひび割れ防止のため、溶接金網（φ3.2～5.5mm、100×100mm程度）をコンクリート厚の中央となるよう設置します。
- 防水層・断熱材施工後、すみやかに打設します。

立上り高さ

- 防水層の立上りは仕上げ面から200mm以上（水上）とします。



伸縮目地

- 立上り押えの仕上面から300～600mmの位置に幅25mm以上のボーダー目地をとり、屋根全面に幅25mm以上の目地を2～3m間隔で設けます。また、各目地は立上り面まできちんと通します。
- 防水層の表面まで達するように施工します。

立上り際

- 必ず成形緩衝材を設けます（パラクッション・パラキャント等）

押え層と防水層の絶縁

- 押え層の動きによる防水層や断熱材の損傷を軽減するため、PTクロスを施工します。

チェックポイント

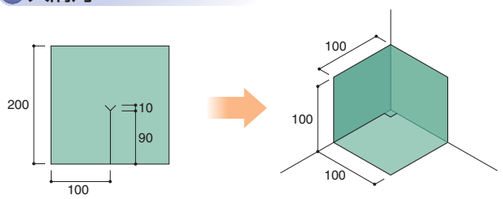
1. プライマー・接着剤等は十分に撹拌して使用しているか。
2. プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。
3. 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。
4. 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。
5. ドレン、パイプ廻り等に、規定の増張りをしているか。
6. ルーフィングの接合部を、逆張りにしていないか。
7. ルーフィング接合部の重ね幅は、規定通りになっているか。
8. 張付けたルーフィングに「シワ・膨れ」等が生じていないか。
9. ルーフィングの下に小石などの異物がないか。
10. 立上りは規定の高さまで施工しているか。
11. 張り仕舞処理は、規定通りになっているか。
12. 断熱材を施工する場合、接着剤は規定通りに塗布しているか。
13. 絶縁用シートは規定通りになっているか。
14. 立上り際に成形緩衝材が施工しているか。

出入隅角部・ALCパネル・パイプ 廻り施工方法

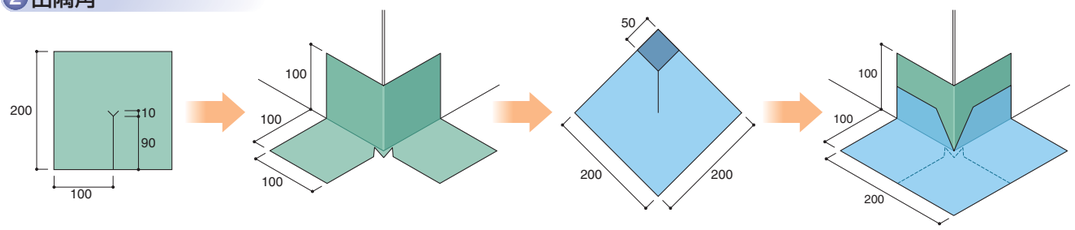
出入隅角・ドレン部等の施工部位には、メルタン21AまたはSKルーフBFテープを使用します。
増張りの処理は、下地面を十分に加熱後、ルーフィング裏面をトーチバーナーを用いて施工します。

出入隅角部

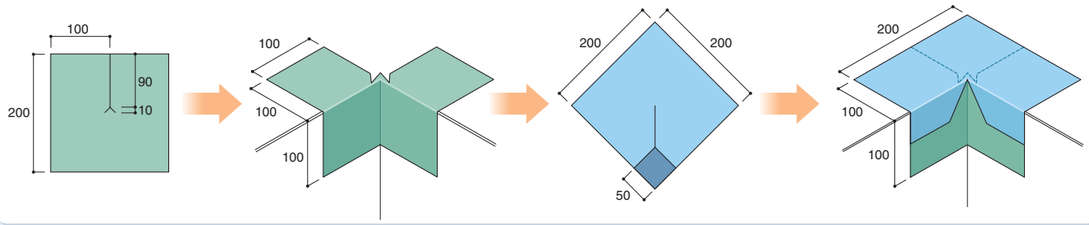
❶入隅角



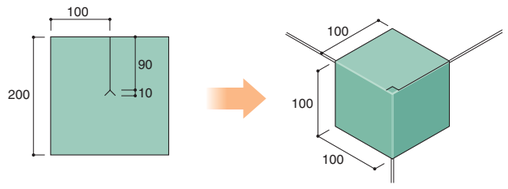
❷出隅角



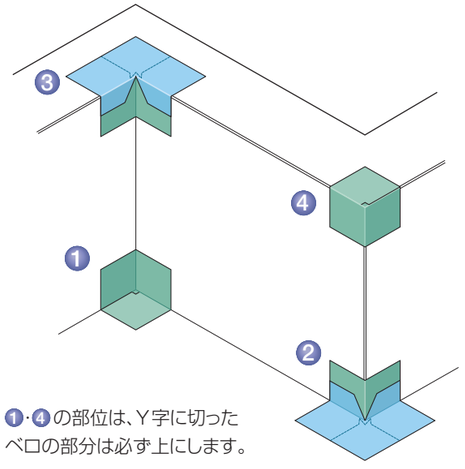
❸天端入隅角



❹天端出隅角

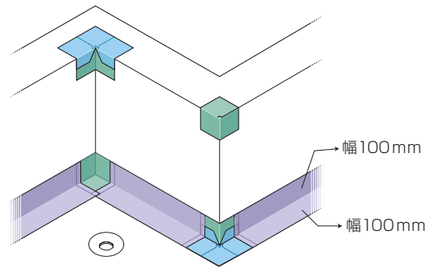


まとめ



❶・❹の部位は、Y字に切ったベロの部分は必ず上にします。

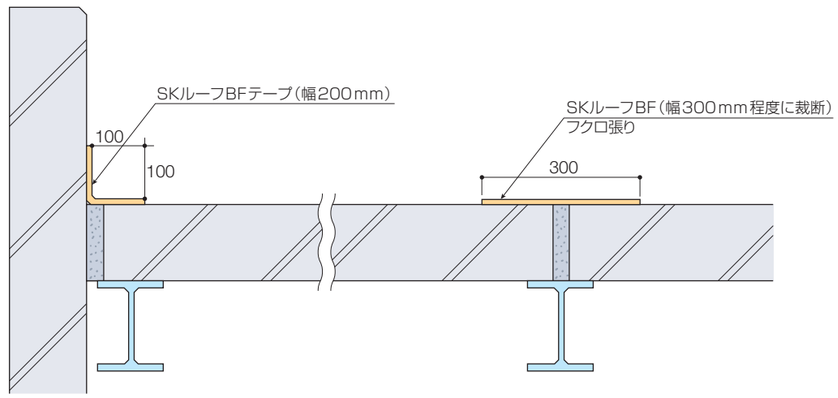
入隅部の施工（平場・立上り部）



❶メルタン21A等を200mm幅にカットしたものを入隅部にトーチバーナーを用いて、平場・立上りに均等に振り分けて十分に圧着しながら施工します。

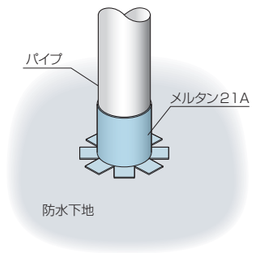
❷ステッチャー等を用いて、入隅部が直角となるように施工します。

ALCパネル下地の増張り



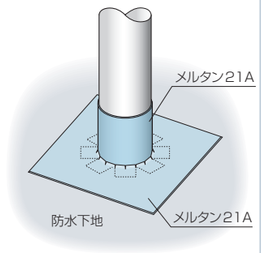
パイプ廻りの施工

❶



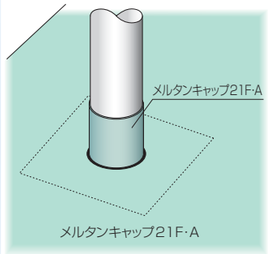
メルタン21A等をパイプ廻りと平場に「タコ足」状に張り付けます。

❷



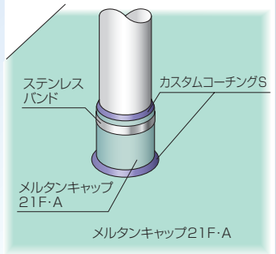
メルタン21A等を角形に裁断し、パイプの径より小さい穴をあけて張り付けます。

❸



パイプ廻りにメルタンキャップ21F·Aを鉢巻状に張り付けます。

❹



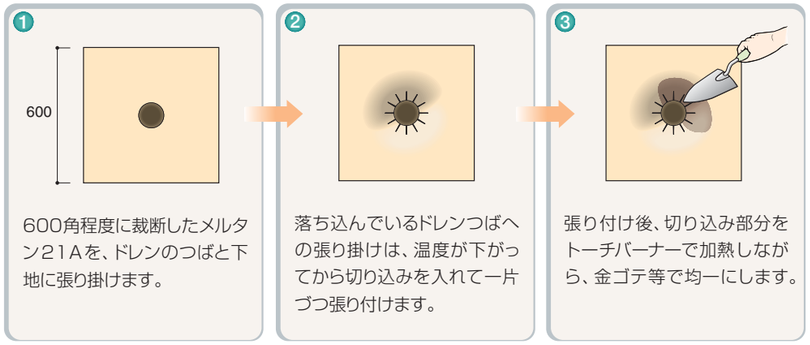
継目及び端末部にカスタムコーチングSを塗り付け端部をステンレスバンド等で固定します。

ドレン部の施工及びルーフィングの張 り付け方法

ドレン部の施工

① 新築工事の場合

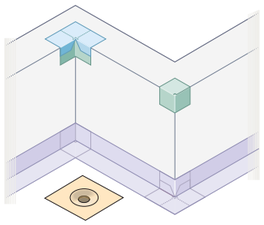
- ドレン廻りの増張りには、メルタン21A等を裁断して使用します。＊増張り処理後、冷却時間を置いてから本防水の施工に入ります。
- ドレンのつば及びその周囲をトーチバーナーを用いて施工します。
- カットしたメルタン21Aにもトーチバーナーを用いて施工します。



600角程度に裁断したメルタン21Aを、ドレンのつばと下地に張り掛けます。

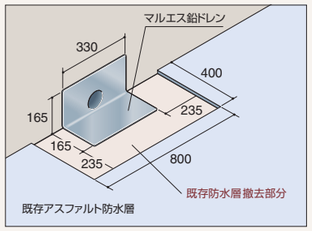
落ち込んでいるドレンつばへの張り掛けは、温度が下がってから切り込みを入れて一片づつ張り付けます。

張り付け後、切り込み部分をトーチバーナーで加熱しながら、金ゴテ等で均一にします。



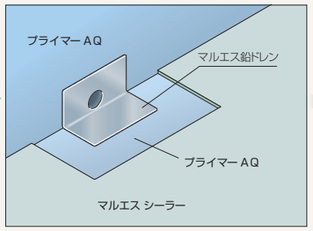
② 改修工事の場合

① マルエス鉛ドレン設置



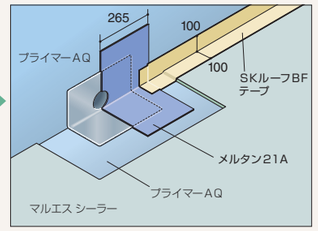
- ドレン廻りの防水層を400×800mm程度に撤去する。（立上りは全撤去）
- ドレン部に木槌等を用いて、マルエス鉛ドレンを設置します。

② プライマー類 塗布



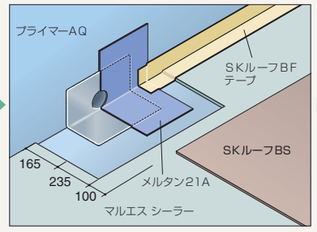
- 既設アスファルト防水部にはマルエスシーラーを、撤去部にはプライマーAQを規定量塗布します。

③ 増し張り処理



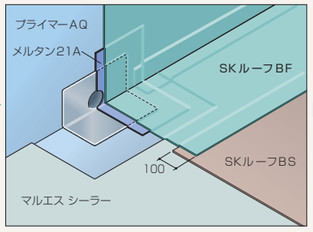
- 入隅部にはSKルーフBFテープ等を用いて、平場・立上りに均等に100mmづつ張り掛けます。

④ 平場 1層目施工



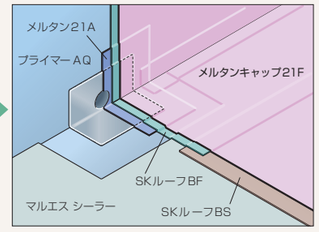
- 入隅より500mm程度離した位置からSKルーフBSを張り付けます。

⑤ 立上り 1層目 施工



- 平場に張り付けたSKルーフBSに100mm以上張り掛かるように、SKルーフBFを張り付けます。

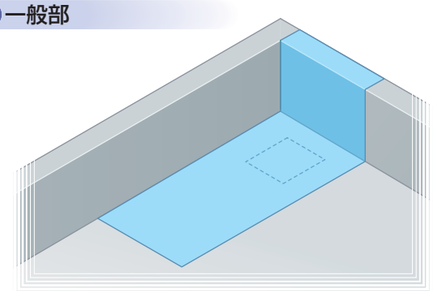
⑥ 2層目 施工



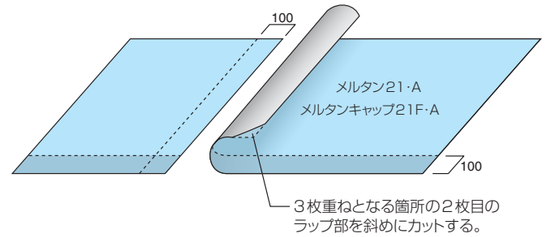
- トーチバーナーを用いてメルタンキャップ類を張り付けます。
- 張り付け完了後、端部にカスタムコーチングS等を用いてシール処理します。

ルーフィングの張り付け方法

① 一般部



防水シートの重ね方法



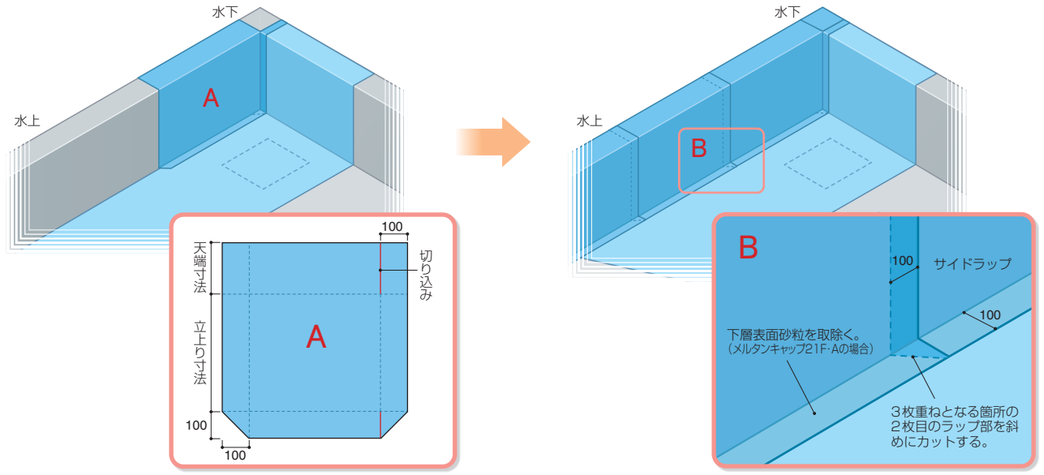
- ルーフィングは幅方向は水下から水上へ、長手方向は勾配に垂直となるよう張り付けます。
- 必ず仮敷きしたルーフィングを巻き戻し、位置決めを行った後に、施工に入ります。
- 入隅部に突きつけるようにして、ルーフィングをトーチバーナーを用いて張り付けます。

※立上りの高さが300mm以上の場合は平場と立上りのルーフィングを別張りとします。

- ルーフィングの重ね幅は長手・幅方向共100mm以上とします。
- エンドラップは下層ルーフィングの砂粒を除去した上で施工します。

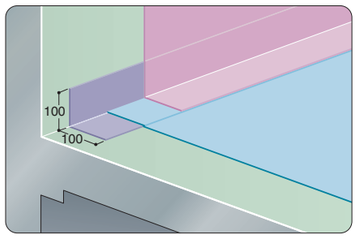
② 立上り部

- 水下から水上に向かって立上りの施工をします。 両勾配の場合は、棟で合わせます。

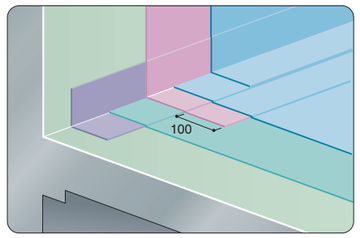


③ ルーフィング 平場・立上りの張り合わせ

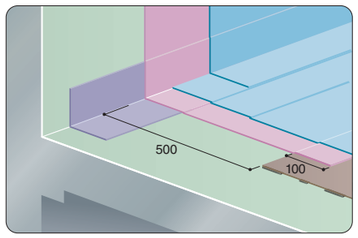
■単層張り工法（密着・絶縁工法の場合）



■複層張り工法（密着工法の場合）



■複層張り工法（絶縁工法の場合）

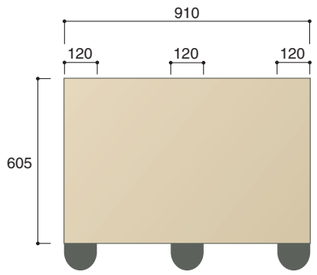


ルーフィング張り付け方法（断熱工法の場合）

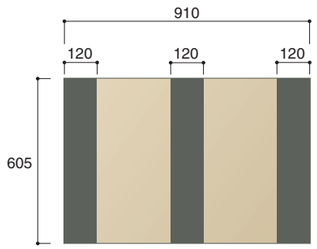
断熱材の張り方　USボンドA塗布

●シェーンボードを張り付けるUSボンドAは下図のように、カワスキ・コテ等を用いて、120mm幅で張り付けます。

表面イメージ

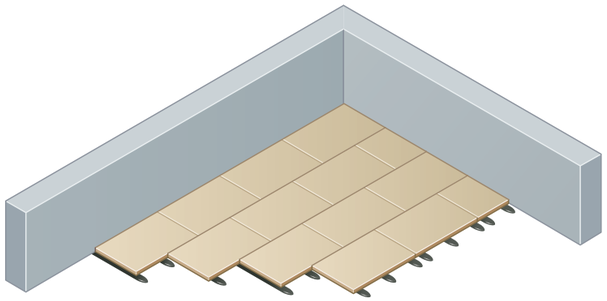


裏面イメージ



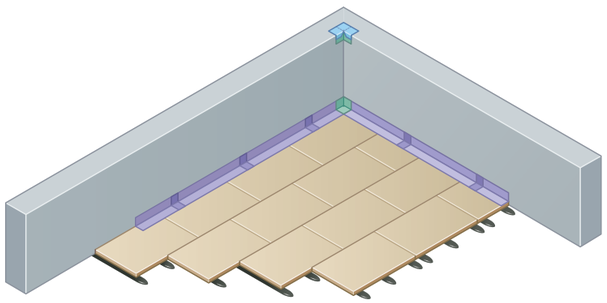
断熱材及びルーフィングの張り方

①断熱材張り付け



●断熱材を入隅部から、千鳥張りとします。
●改修で被せ工法の場合で、入隅部が面取りしている場合は、新設シェーンボードの端部を斜めにカットします。

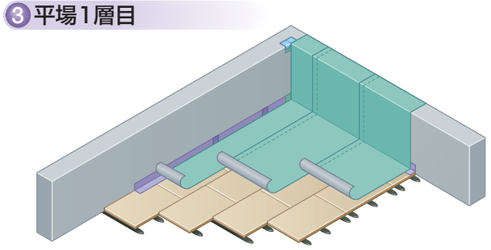
②コーナー部処理



●シェーンボード敷設後、入隅部及び出入隅角部にSKルーフBFテープ等を用いて、増し張り処理します。
（詳細は前頁をご参照ください）

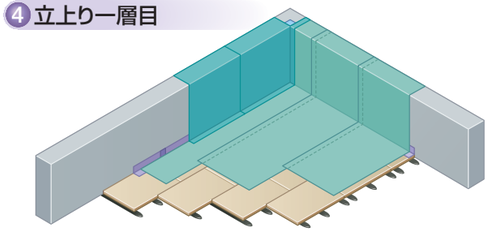
密着工法の場合

③平場1層目



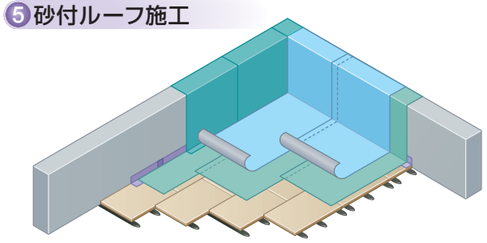
●SKルーフBFは入隅部に突き付けて剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。
※起点となる張り始めのSKルーフBFはルーフィングの半切品を用いて施工します。
●SKルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

④立上り一層目



●妻側の立上りも同様に、SKルーフBFの剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。
●SKルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

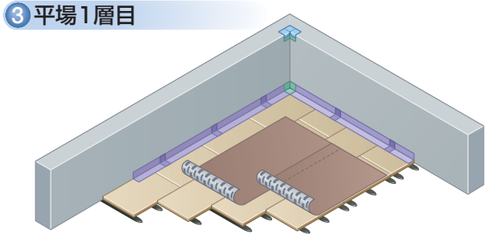
⑤砂付ルーフ施工



●メルタンキャップ類は、入隅部に突き付けてトーチバーナーで裏面及びSKルーフBF表面を十分炙りながら、張り付けます。
●メルタンキャップ類を施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。
※メルタンキャップ類が下層SKルーフBFと長手方向の張り位置が重ならないようにします。

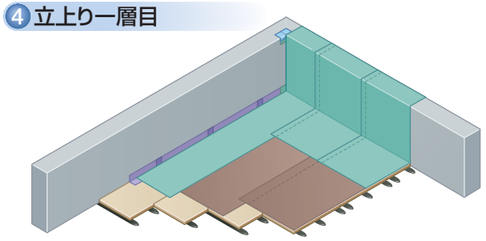
絶縁工法の場合

③平場1層目



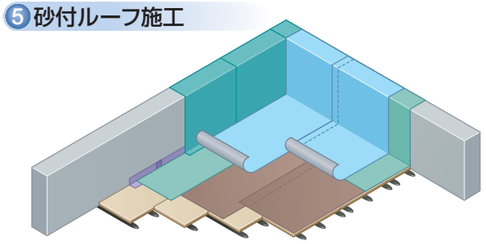
●SKルーフBSは入隅部より500mm程度離した位置を起点として、剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。
●短辺ジョイントは突き付けて、SKルーフBF（200mm幅）を増張りするか、100mmジョイントを設けて、トーチバーナーを併用しながら、ジョイント重ね部を全面接着とします。

④立上り一層目



●立上りのSKルーフBFは平場のSKルーフBSに100mm以上ジョイントするように、剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。※起点となる張り始めのSKルーフBFはルーフィングの700mm程度に裁断したものを用いて施工します。
●SKルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

⑤砂付ルーフ施工



●メルタンキャップ類は、入隅部に突き付けてトーチバーナーで裏面及びSKルーフ類表面を十分炙りながら、張り付けます。
●メルタンキャップ類を施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。
※メルタンキャップ類が下層SKルーフ類と長手方向の張り位置が重ならないようにします。

※立上りの高さが300mm以上の場合は平場と立上りのルーフィングを別張りとします。

防水層の耐風圧性について

屋根面における風圧力

建築基準法では風圧力の計算基準を建築基準法施行令第82条の5及び建設省告示第1458号で下記のように定めています。

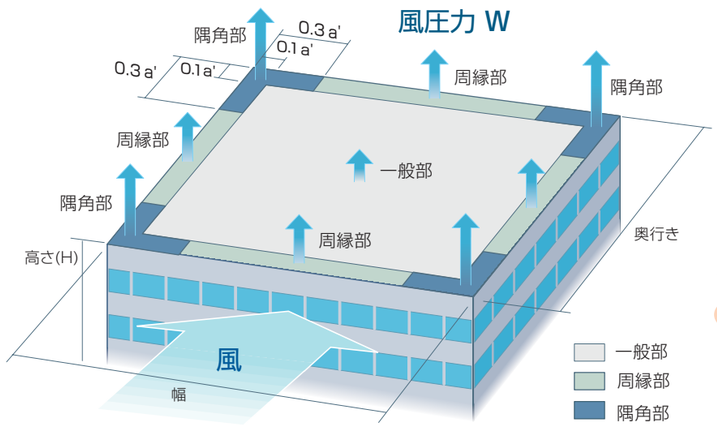
$$W\,(\text{風圧力 N/m}^2) = \bar{q}\,(\text{速度圧 N/m}^2) \times \hat{C}f\,(\text{風力係数})$$

$$\bar{q}\,(\text{速度圧 N/m}^2) = 0.6 \times Er^2 \times Vo^2$$

Er：平均速度の高さ方向の分布を表す係数

Vo：基準風速

●屋根ふき材用風荷重領域



a'：平面の短辺長さと高さの2倍の数値のうちいずれか小さな数値（30を超えるときは、30とする。）　（単位:m）

●地表面粗度区分

I	都市計画区域外にあって、極めて平坦で障害物がないものとして特定行政庁が規則で定める区域
II	都市計画区域外にあって地表面粗度区分Iの区域以外の区域（建物の高さが13m以下の場合を除く。）又は湖岸線（対岸までの距離が1,500m以上のものに限る。以下同じ。）までの距離が500m以内の地域（但し、建築物の高さが13m以下である場合又は当該海岸線若しくは湖岸線からの距離が200mを超え、且つ、建築物の高さが31m以下である場合を除く）
III	地表面粗度区分、I、II又はIV以外の地域
IV	都市計画区内にあって、都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が規則で定める区域

●条件

1. 地表面粗度区分── IIIとする
2. 建築物所在地── 東京都（基準風速：34m/s）
3. 建築物形状 ── 陸屋根（片流れ水勾配：1/50とする）
4. 屋根高さ（軒先高さと棟高さの平均）── 30m
5. 幅 ── 50m　　奥行き ── 25m

●地表面粗度区分

I	$Er = 1.7\,(H/250)^{0.10}$
II	$Er = 1.7\,(H/350)^{0.15}$
III・IV	$Er = 1.7\,(H/450)^{0.20}$

屋根高さ H = 30m

$$Er = 1.7(30/450)^{0.20} \fallingdotseq 0.989$$

$$\bar{q} = 0.6 \times Er^2 \times Vo^2 = 0.6 \times (0.989)^2 \times (34)^2 \fallingdotseq 679\ (N/m^2)$$

一般部　$W = \bar{q} \times \hat{C}f_1 = -2.5 \times 679 \fallingdotseq -1698$　（風力係数 $\hat{C}f_1 = -2.5$）

周縁部　$W = \bar{q} \times \hat{C}f_2 = -3.2 \times 679 \fallingdotseq -2173$　（$\hat{C}f_2 = -3.2$）

隅角部　$W = \bar{q} \times \hat{C}f_3 = -4.3 \times 679 \fallingdotseq -2920$　（$\hat{C}f_3 = -4.3$）

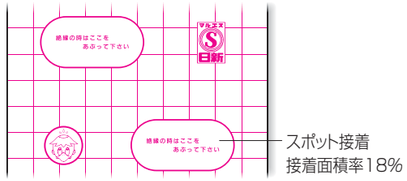
この条件の場合は、最も風圧のかかる部位で 2920N/m² の負圧となりますので、この値を超える固定力が防水層に求められることになります。

耐風性の検証

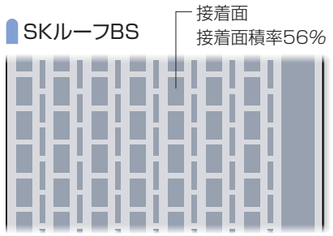
■試験条件　引張速度：50 mm/min　　測定温度：0, 20, 40, 60 ±2℃

■ルーフィング接着面（裏面）

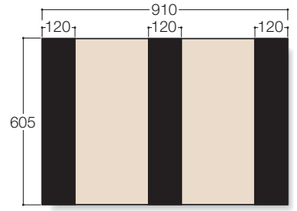
メルタン21(A) びメルタンキャップ21F



SKルーフBS



シェーンボード（接着面積 39%）



■試験結果

測定温度 [℃]	接着強さ [N/cm²]						
	下地（プライマー）／カスタムM	カスタムM(USボンドA)／シェーンボード	下地(USボンドA)／シェーンボード	シェーンボード／SKルーフ類	下地（プライマー）／メルタンキャップ類	下地（プライマー）／SKルーフ類	SKルーフ類／メルタンキャップ類
0	96.7	14.8	17.5	68.2	82.2	70.6	88.2
20	51.7	16.8	21.1	33.1	80.2	41.2	55.9
40	19.5	8.6	20.8	13.6	23.8	22.5	29.4
60	7.2	6.5	19.1	6.5	10.1	12.7	11.8
接着面積	100%	39%	39%	56%・100%	18%・100%	56%・100%	100%
最低値	7.2	2.5	7.4	2.5	1.8	7.1	11.8

●「メルタン21防水工法」全工法の中で接着強さの最低値は「1.8N/cm²（18000N/m²）」です。

●工事安全率を0.6とすると、接着面積は　$0.18 \times 0.6 = 0.108\ (m^2/m^2)$

●接着強度を10.1（N/cm²：60℃）とした場合　$0.108 \times 10.1 = 1.0908\ (N/cm^2)$
$= 10908\ (N/m^2)$

●強度安全率は、**最大風圧力** − 2920（N/m²）より接着強度と比較して
10908 ÷ 2920 ≒ 3.73　　故に**安全率は** 3.7となる

■高さ30mでの耐風性

風速 (m/s)	粗度区分	屋根部位			安全率
		一般部	周縁部・棟端部	隅角部	
34	I	−3279	−4198	−5640	1.9
	III	−1698	−2173	−2920	3.7
46*	I	−6003	−7683	−10325	1.0
	III	−3105	−3974	−5341	2.0

＊沖縄地方を想定

■風速34m/sの場合

高さ (m)	粗度区分	屋根部位			安全率
		一般部	周縁部・棟端部	隅角部	
15	I	−2855	−3654	−4910	2.2
	III	−1286	−1646	−2211	4.9
45	I	−3556	−4552	−6117	1.7
	III	−1995	−2554	−3431	3.1

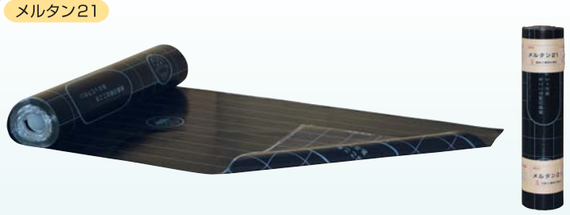
何れの場合も接着強度は風荷重を上回っており、実際には温度60℃の熱風は起きないと考えられる為、より安全と言える。

ルーフィング類

非露出単層防水用R種　非露出複層防水用R種

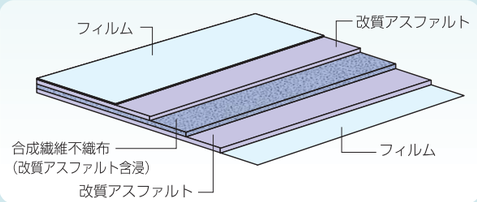
メルタン21／メルタン21A

メルタン21



メルタン21A

合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆したJIS A 6013に適合する改質アスファルトルーフィングです。メルタン21は単層保護工法にメルタン21Aは複層工法の上層・下層用、出入隅角部の増張り等に使用し、トーチバーナーでルーフィング裏面を溶融し施工します。



	メルタン21	メルタン21A
幅（m）	1	1
長さ（m）	8	8
厚さ（mm）	4.0	2.5
重量（kg）	36	23

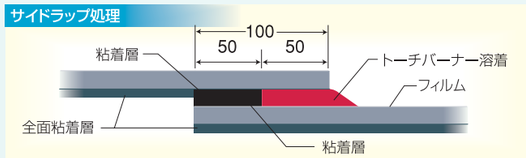
非露出複層防水用R種　非露出複層防水用R種

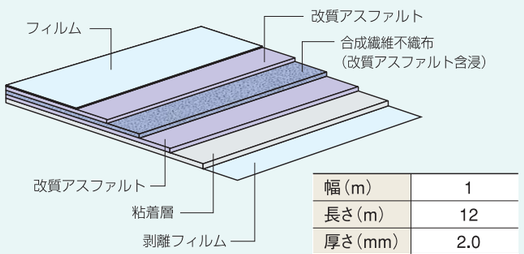
SKルーフBF／SKルーフBS

合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆したJIS A 6013に適合する粘着付改質アスファルトルーフィングです。
SKルーフBFは密着複層工法の下層にSKルーフBSは絶縁複層工法の下層に使用します。下地に対しては粘着で施工し、ラップ部はトーチバーナーで溶融し施工します。

SKルーフBF

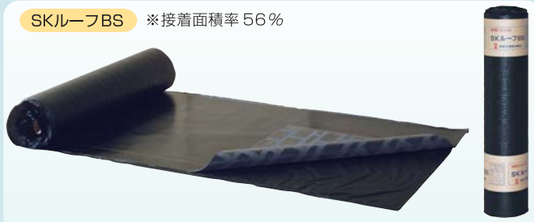
サイドラップ処理



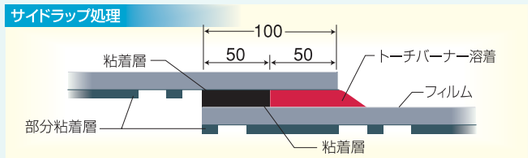


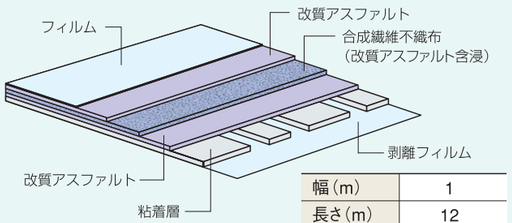
幅（m）	1
長さ（m）	12
厚さ（mm）	2.0
重量（kg）	27

SKルーフBS　※接着面積率56％



サイドラップ処理



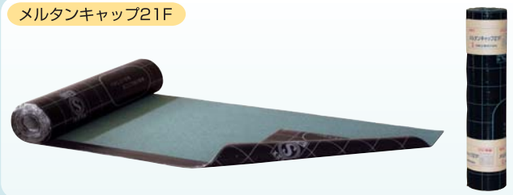


幅（m）	1
長さ（m）	12
厚さ（mm）	2.0
重量（kg）	33

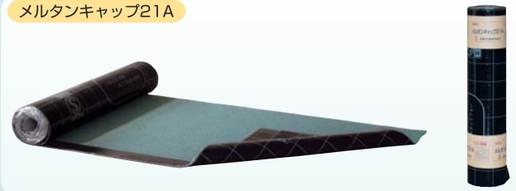
露出単層防水用R種　露出複層防水用R種

メルタンキャップ21F／メルタンキャップ21A

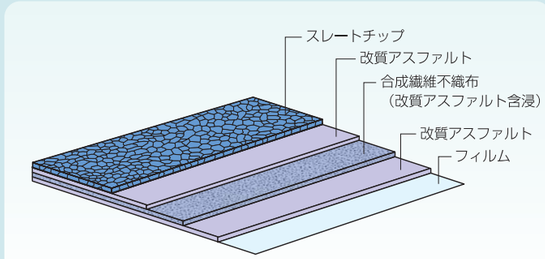
メルタンキャップ21F



メルタンキャップ21A



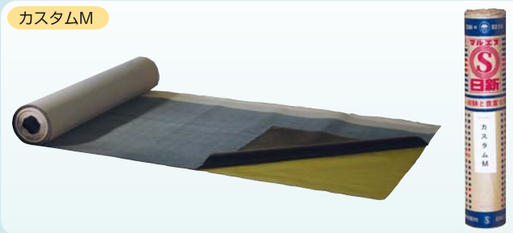
合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆したJIS A 6013に適合する砂付改質アスファルトルーフィングです。メルタンキャップ21Fは単層露出工法にメルタンキャップ21Aは複層露出工法の最上層に使用し、トーチバーナーでルーフィング裏面を溶融し施工します。



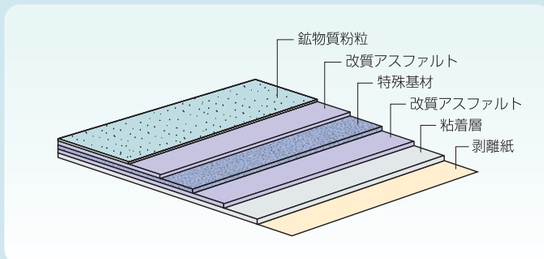
	メルタンキャップ21F	メルタンキャップ21A
幅（m）	1	1
長さ（m）	8	8
厚さ（mm）	4.0	3.0
重量（kg）	38	30

カスタムM

カスタムM



ルーフィングの裏面に粘着層を設けた防湿層のルーフィングです。
露出断熱仕様の防湿層として使用します。



幅（m）	1
長さ（m）	16
厚さ（mm）	1.0
重量（kg）	23

SKルーフBFテープ

合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆した粘着層付改質アスファルトルーフィングで、入隅部等の増張りに使用します。

幅（cm）	20
長さ（m）	12
厚さ（mm）	2.0
重量（kg）	10.8
梱包	2巻／箱入

プライマー／下地処理材／仕上塗料

プライマー類

プライマーAQ

アスファルトをベースとしたエマルション系アスファルトプライマーです。

■荷 姿：16kg／缶

アスファルトプライマー

アスファルトをベースとした溶剤系のプライマーです。
寒冷地などに使用します。

■荷 姿：15kg／缶（第四類第二石油類）

プライマーC1

ASI-J1に使用する溶剤系プライマーです。
ポルトランドセメントと1:1の割合で混合し、「プライマーC10」として使用します。

■荷 姿：17kg／缶（第四類第二石油類）

プライマーM2

既存下地が合成高分子系シート防水層である場合に使用する溶剤系プライマーです。

■荷 姿：0.5kg／缶、17kg／缶
（第四類第一石油類）

プライマーM4

既存下地がウレタン系防水層である場合に使用する溶剤系プライマーです。

■荷 姿：8kgセット（主剤4kg＋硬化剤4kg）
（第四類第一石油類）

プライマーM4E

既存下地がウレタン系防水層である場合に使用する水性プライマーです。

■荷 姿：混和液
（A剤4kg＋B剤4kg）粉体8kg

下地調整材

マルエスシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する溶剤系のアスファルト系下地調整材です。

■荷 姿：18kg／缶（第四類第二石油類）

AQシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する水性のアスファルト系下地処理材です。

■荷 姿：A材（17kg／缶）　B材（25kg／袋）

フィットベース

既存下地がアスファルト防水層撤去後の不陸調整に使用する水性のエポキシ樹脂系下地調整材です。

■荷 姿：主剤（1kg／袋）　硬化剤（3kg／袋）
粉体（15kg／袋）

ニューセッターボード

既存湿潤下地にも対応した、無機質系充填材を混入したアスファルト系マスチックパネルです。

■荷姿：1000mm×1000mm
厚さ：3mm

ショウテック早強 #200

既存パラペット等の緊急補修用に開発された急結高強度無収縮既調合モルタルです。

■荷 姿：混合剤（18kg／缶）
粉　体（25kg／袋）

接着剤

USボンドA

1液型のアスファルト系接着剤です。
断熱材等の張り付け等に使用します。

■荷姿：10kg／缶、20kg／缶
330mlカートリッジ24本／箱入

セピロンセメント

2成分無溶剤型ウレタン系接着剤です。

■規格：10kg／セット
主剤：2kg・硬化剤：8kg

セッターセメント

1液型のアスファルト系断熱材用接着剤です。
主に「屋根外断熱全面修繕工事」仕様に使用します。
（P.21参照）

■規格：18kg／缶

仕上塗料

水性アルミコート

エマルションタイプのシルバー塗料で、露出防水層の仕上塗料として使用します。

■荷 姿：15kg／缶
塗布量の目安：0.3kg／m²
塗 替 の 目 安：3～5年

プレノコートAL

改質アスファルトをベースにした厚塗り高耐用タイプのシルバー塗料で、露出防水層の仕上塗料として使用します。
通常のアルミ塗料に比べて、耐久性があります。

■荷 姿：主剤14.4kg／缶　アルミペースト3.6kg／缶
（第四類第二石油類）
塗布量の目安：1.0kg／m²
塗 替 の 目 安：5～7年

プレノカラーN

アクリルエマルションをベースとしたカラータイプの露出防水層の仕上塗料です。

グリーン　グレー　シルバーグレー

■荷 姿：15kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²（2回塗り）
塗替の目安：3～5年

ロックコート

合成樹脂、無機難燃化剤等を主成分とするカラータイプの露出防水層の仕上塗料です。防水層の劣化を防ぐだけではなく、飛び火などによる延焼を防止することが出来ます。※受注生産

グリーン　グレー　ベージュ

■荷姿：20kg／缶
塗布量の目安：2.0kg／m²（2回塗り）
塗替の目安：5～7年

プレクール　グリーン購入法適合

太陽光線に対する反射率と熱放射率に優れた遮熱塗料です。

グレー　シルバーグレー

■荷 姿：16kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²（2回塗り）
塗替の目安：3～5年

ハイクール　グリーン購入法適合

高い遮熱効果と耐候性を持った水性仕上塗料です。日射反射率が高く、室内環境の向上と冷暖房時消費電力を抑制します。

ホワイト　ライトグレー　ライトグリーン

■荷 姿：16kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²（2回塗り）
塗替の目安：6～8年

注：色見本は印刷物ですので、現物の色調とは若干異なる場合があります。

仕上材／断熱材／改修用ドレン／脱気　装置

仕上材

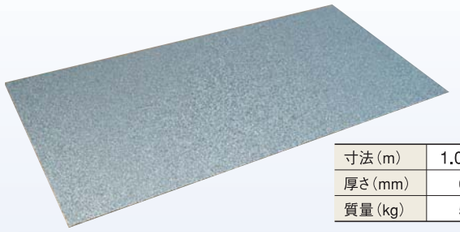
PFシステム 乾式浮床システム

高さを自由に変えられるPFスタンドとコンクリート成形板などを組み合わせ防水層を保護すると同時に、段差のないバリアフリースペースを設ける工法です。

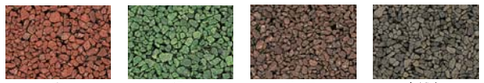
※詳細は、「PFシステム」カタログをご参照ください。

トップタイト アスファルト成形板

補強材を付与したアスファルト成形板で、表面に化粧砂粒を圧着したものです。防水層の上に直接貼り付ける簡単な施工方法で、防水層の耐久性を向上させると共に軽歩行用途に適しています。



寸法（m）	1.0×0.5
厚さ（mm）	6.0
質量（kg）	5.5



※詳細は、「アスファルト防水の仕様」カタログをご参照ください。

カチトール 砂利まき樹脂固定工法

防水層またはUSD工法の断熱材の上に、約30mmの厚さに敷き並べた砂利を特殊エマルジョンを用いて砂利相互を接着固定します。
（非歩行）

※詳細は、「カチトール砂利まき工法」カタログをご参照ください。

ピロブロック コンクリート成形ブロック

防水層の上に、またはUSD工法の断熱材の上にコンクリート成形ブロック（ピロブロック）を敷き並べる仕上げ工法です。（非歩行）

寸法（m）	0.45×0.45／枚
厚さ（mm）	25
質量（kg）	11

※詳細は、「アスファルト防水の仕様」カタログをご参照ください。

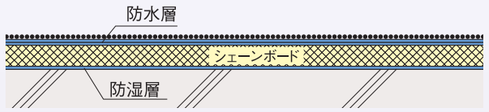
断熱材（ノンフロン）

シェーンボード 硬質ウレタン系断熱材

フロンを使用しないで製造した硬質ウレタン系断熱材で耐熱性に優れており、断熱露出防水工法に使用します。

※JIS A 9511（発泡プラスチック保温材）のA種硬質ウレタンフォーム保温板２種１号の透湿係数以外を除く規格に適合します。

寸法（mm）	605×910
厚さ（mm）	25, 30, 35, 40, 50, 60

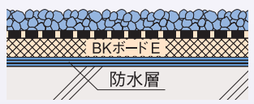


BKボードE 押出成形ポリスチレン系断熱材 グリーン購入法適合

押出成形ポリスチレン系断熱材です。水蒸気透過性が極めて小さいので、断熱材を防水層の上に設ける断熱保護防水工法（USD工法）に使用します。

※JIS A 9511（発泡プラスチック保温材）のA種押出ポリスチレンフォーム保温板３種bの認定品です。

寸法（mm）	910×910
厚さ（mm）	25, 30, 35, 40, 50
	60（受注生産）

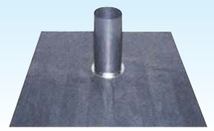


※その他の厚さについては、ご相談下さい。

改修用ドレン マルエス鉛・銅ドレン

縦用

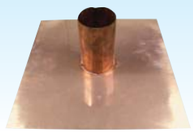
マルエス鉛ドレンM



■外寸法：330mm×330mm×（H）150mm
■板　厚：1.5mm

規格	内径	外径
70φ	60mm	63mm
100φ	92mm	95mm

マルエス銅ドレン



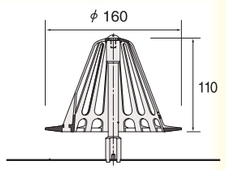
■外寸法：365mm×365mm×（H）150mm
■板　厚：本体部0.5mm　筒　部0.7mm

規格	内径	外径
75φ	56.6mm	58mm
100φ	78.1mm	79.5mm

※上記以外のサイズについては、弊社担当者までお問い合せください。

マルエスアルミドレンキャップ

■縦・大

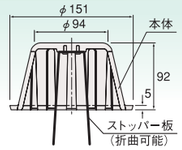


適用径　50～100φ

■縦・小

適用径　30～75φ

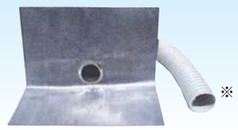
マルエスドレンキャップ（鉄鋳物）



適用径　50～100φ

横用

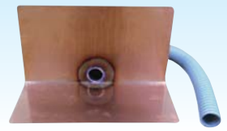
マルエス鉛ドレンM



■外寸法：330mm×330mm
■ホース長：500mm
■板　厚：1.5mm

規格	内径	外径
75φ	63.5mm	71.2mm
100φ	88.9mm	97.7mm

マルエス銅ドレン



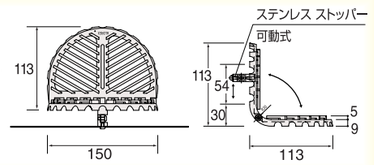
■外寸法：365mm×365mm
■ホース長：600mm
■板　厚：本体部0.5mm　筒　部0.7mm

規格	内径	外径
75φ	63.5mm	72.6mm
100φ	76.2mm	85.8mm

※ジャバラは、同梱されている説明書に従い、施工時に取り付けてください。

マルエスアルミドレンキャップ

■横自在



適用径　50～100φ

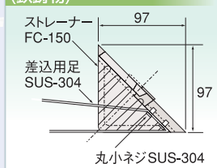
■横・小・平

適用径　40～65φ

■横・小・L

適用径　40～65φ

マルエスドレンキャップ（鉄鋳物）



適用径　50～100φ

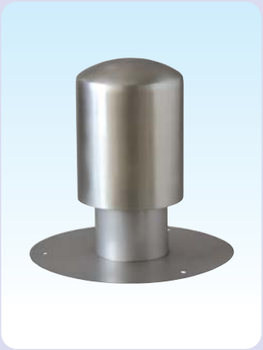
脱気装置 ニューステンレスベント・コア

ニューステンレスベント

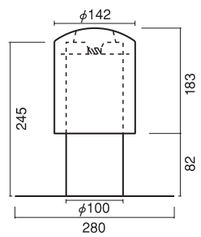
- 露出絶縁防水工法の平場より下地の湿気等を排出する脱気装置です。
- ステンレス製（SUS 304）なので耐久性・耐腐食性良好です。
- 円筒部が大きいので施工性良好です。
- 形状がシンプルで頂部の開口部が大きいので脱気能力に優れています。

コア

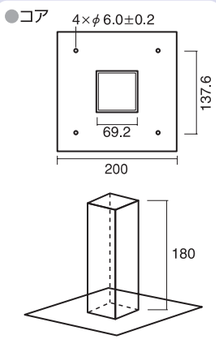
- 露出断熱工法の場合は、ニューステンレスベントの下部に使用します。



●ニューステンレスベント



●コア



副資材・工具／太陽電池基礎架台／マルエスアルミ水切

副資材・工具

キュービックコート

1液型のアスファルト系防水材です。
「複雑部位」「狭所」に使用します。

■荷姿：10kg／缶

カスタムコーチングS

接着性、耐寒性、高温ダレ特性に優れたゴムアスファルト系シール材です。防水層の端末部や張仕舞、ルーフドレン・パイプ廻りなど水密性を要求される部位に使用します。

■荷姿：22kg／缶、11kg／缶、330mlカートリッジ24本／箱入

PTクロス

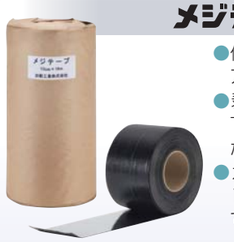
ポリエチレン製のフラットヤーンクロスです。保護防水の絶縁用シートとして使用し、押え層の動きによる防水層の損傷を防ぎます。

寸法（m）	1×200
単位質量	70g／m²

Iテープ

断熱材の目地に使用する補強用テープです。
主に「屋根外断熱全面修繕工事」仕様に使用します。
（P.21参照）

メジテープ



- 伸縮目地処理用の粘着層付改質アスファルト防水テープです。
- 剥離フィルムを剥がすだけで下地に接着するため、作業性が向上します。
- カッターやハサミでカットし、1スパンごとに5mm程度あけて張り付けます。

厚さ（mm）	1（剥離フィルム込）	寸法（m）	0.1×16

工具 トーチバーナーセット

改質アスファルトルーフィングを溶着させるバーナーセットです。
■セットと単品での販売が可能です。

セット内容
① レギュレータ ×1
② ホース（10m）×1
③ エクステンションチューブ（350mm）×1
④ ハンドル　×1
⑤ トーチバーナーノズル 火口51φ ×1
⑥ トーチバーナーノズル 火口35φ ×1※
⑦ ハンドトーチバーナースタンド

※ルーフィングジョイントには火口35φを御利用ください。

太陽電池基礎架台

防水システム専用の太陽電池「基礎架台」及び「架台」です。適用可能下地はRCのみです。

PVマルチスタンド

PVマルチスタンド 断熱

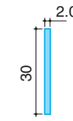
	PVマルチスタンド	PVマルチスタンド 断熱
規格	φ150×175mm（ボルト径：20mm）	φ150×210mm（ボルト径：20mm）
素材	ステンレス製（SUS304）	ステンレス製（SUS304）
梱包単位	2個入り／箱（ビス及びアンカー同梱）	2個入り／箱（ビス及びアンカー同梱）

※詳細は専用カタログ「PVマルチスタンド」をご参照ください。

マルエスアルミ水切（MCシリーズ）

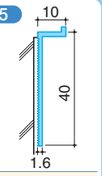
端末タイプ

MC-14A



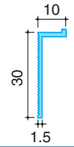
■規格：
幅30mm×長さ2m／本
厚み 2.0mm

MC-15



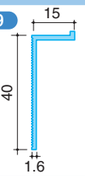
■規格：
10×40mm×2m／本
厚み 1.6mm

MC-16B



■規格：
10×30mm×2m／本
厚み 1.5mm

MC-19

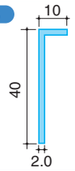


■規格：
15×40mm×2m／本
厚み 1.6mm

MC-27

■規格：
15×30mm×2m／本
厚み 2.0mm

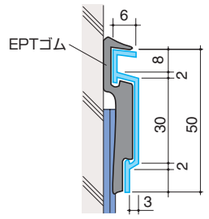
MC-28



■規格：
10×40mm×2m／本
厚み 2.0mm

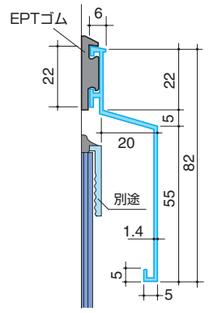
水切タイプ

MC-50S



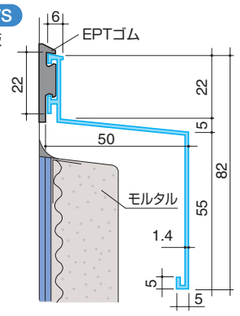
■規格：長さ 2m／本

MC-55S
ジョイント板
1本同梱



■規格：長さ 3m／本　厚み 1.4mm

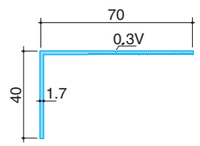
MC-55WS
ジョイント板
1本同梱



■規格：長さ 3m／本　厚み 1.4mm

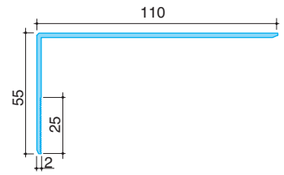
軒先タイプ

MC-2B
ジョイント板別途



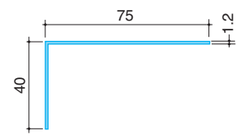
■規格：40×70mm×2m／本、厚み 1.7mm

MC-3
ジョイント板別途



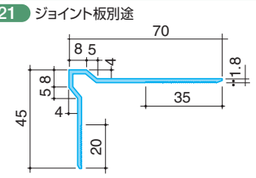
■規格：55×110mm×2m／本、厚み 2.0mm

MC-11F ジョイント板別途



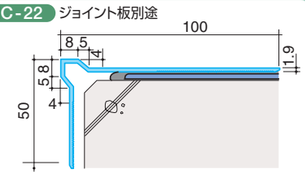
■規格：40×75mm×2m／本、厚み1.2mm

MC-21 ジョイント板別途



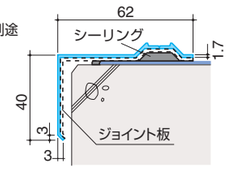
■規格：2m／本、厚み 1.8mm

MC-22 ジョイント板別途



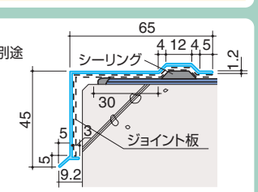
■規格：2m／本、厚み 1.9mm

MC-9A
ジョイント板別途



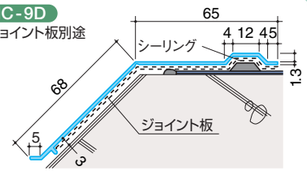
■規格：2m／本、厚み 1.7mm

MC-9C
ジョイント板別途



■規格：2m／本、厚み 1.2mm

MC-9D
ジョイント板別途



■規格：2m／本、厚み 1.3mm

※全ての製品にビスは含まれておりません。

防水層の維持管理について

屋上・ルーフバルコニー・ベランダ等をご利用される方へ

防水層が長期間にわたって安定した防水性能（機能）や美しい外観を保つために、日頃から下記の点にご注意いただき、定期的な自主点検とメンテナンスを実施されることをお奨めします。

使用上の注意

1.露出仕様の場合

原則として維持・管理・点検以外の歩行及び使用はしないでください。

- 歩行する際にハイヒール、スパイク等底の尖った履物は防水層を傷つけるため使用しないでください。

- タバコの火の投げ捨てや火気の使用は、防水層の機能を損なうため、行わないでください。

- 雨や雪などで濡れていたり、落葉・苔・砂埃等が堆積していると滑りやすくなりますので、歩行の際には注意してください。

- 溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないでください。

- ペットの飼育は、爪や歯で防水層を傷つけたり、排泄物より防水層が劣化する恐れがあります。

- 防水層を傷つけたり、物を落としたり、物を引きずったりすることは避けてください。

- 屋上設備類の定期清掃時に中性洗剤以外を使用する場合は、こぼさないように注意してください。また、清掃後は必ず周囲の防水層を水洗いしてください。

- 重量物や振動物は載せないでください。やむを得ず載せる場合には、ゴムマット等を敷き、防水層を保護してください。

- 雪下ろしには、金属製のスコップ等の防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。

- ゴムホースやビニールサンダルを長期にわたり置いておくと、接触している部分が変色することがあります。

- 直接客土して草木の植栽は行わないでください。ご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

2.保護仕様の場合

- 保護層上に溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないよう注意してください。

- 屋上設備類の定期清掃時に、中性洗剤以外を使用する場合には溢さないでください。保護層の目地部等より浸透して、防水層に不具合を生じる恐れがあります。

- 火気の使用や直接客土しての草木の植栽は行わないでください。植栽をご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

- 後から設備基礎等の施設を設置する場合には、設置方法によっては保護層を貫通して防水層を損傷する恐れがありますので、保護層の構造・厚み・積載荷重を考慮して設置してください。
- 目地部やドレン部に植物の繁茂が認められた場合には、防水層を貫通・損傷の恐れがありますので、むやみに引き抜いたりせず専門工事店にご相談ください。

自主点検時の注意

- 天候が降雨・強風の場合は、滑落等の危険がありますので、行わないでください。
- 原則として二人以上で行い、一人では行わないでください。
- 階段や梯子の昇降には十分注意してください。
- 後ろ向きの移動は危険ですので、絶対行わないでください。
- 屋上設備類には、むやみに触れないでください。
- 降雨後に点検する場合は、床が滑りやすくなっていますので、十分注意してください。
- 危険と思われる場所（怖いと思う場所）には、無理に近づかず業者に依頼してください。

メンテナンスのお願い及び注意

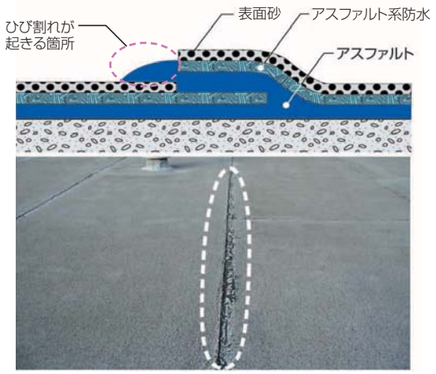
1.露出防水の場合（砂付ルーフィング仕上げ）

■お願い

- 防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に1回以上）をしてください。
- 防水層端末押え金物廻りの点検（1年に1回以上）をしてください。
  水切金物、笠木の設置状況及び端末処理シール材の劣化状況を確認してください。
  異常がみられる場合は、施工業者に連絡してください。
- 定期的（3～6ケ月程度）に清掃を行ってください。
  飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。
- 定期的（3～6ケ月程度）に次のように表面状態の点検を行ってください。
  保護塗料が薄くなっている、剥離を起こしている、ひび割れがある等の異常や植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  特に植物の繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

■ひび割れについて

※ひび割れは、下図に示す通り、防水層に影響を与えるものではなく、防水上問題ありません。



■注意

露出防水層には下記のような現象が見られる場合がありますが、防水性能には支障ありません。

- 施工時にルーフィングのジョイント部分よりはみ出したアスファルトに生じるひび割れ。
- 雨水が滞留し易い箇所に花粉、泥、塵埃（黄砂を含む）等が堆積し、乾燥・湿潤を繰り返す事により発生する表層のひび割れ、捲れ、剥離。
- 表層砂粒への錆の付着及び砂粒に含まれる鉄分による錆の発生。
- ルーフィングに付着している余剰砂の脱落。
- 表層砂粒間に入り込んだ水分（湿気）による表面の膨れ及び下地に含まれる水分による軽度な防水層の膨れ。
- 仕上（保護）塗料の自然な変色・退色・減耗・ひび割れ。

2.保護防水の場合

- 防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に1回以上）をしてください。
- 植物の生育発生状況の点検・ドレン清掃（3～6ケ月程度）をしてください。
  伸縮目地部、ドレン廻りに砂埃等が堆積していると植物の生育しやすい環境になります。飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

防水層の補修、仕上塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社又は専門工事店に依頼してください。（有償）